

第五十二回 帝國議會 貴族院議事速記錄第二十二號

議事日程 第二十二號 昭和二年三月十七日(木曜日)	午前十時開議	午前十時九分開議	午前十時開議	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第一 電氣事業法中改正法律案(政府提出)	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第二 國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案(衆議院提出)	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第三 國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案(衆議院提出)	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第四 兌換銀行券整理法案(政府提出)	第一讀會	第一讀會	第一讀會	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第五 計理士法案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第六 銀行法案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第七 賯蓄銀行法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第八 農工銀行法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第九 北海道拓殖銀行法中改正法律案(政府提出)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)	第一讀會ノ續(委員長)	第一讀會ノ續(報告)
第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)
第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(報告)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(報告)
第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(報告)	第三 読會ノ續(委員長)	第三 読會ノ續(報告)
第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(報告)	第四 読會ノ續(委員長)	第四 読會ノ續(報告)
第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(報告)	第五 読會ノ續(委員長)	第五 読會ノ續(報告)
第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(報告)	第六 読會ノ續(委員長)	第六 読會ノ續(報告)
第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(報告)	第七 読會ノ續(委員長)	第七 読會ノ續(報告)
第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(報告)	第八 読會ノ續(委員長)	第八 読會ノ續(報告)
第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(報告)	第九 読會ノ續(委員長)	第九 読會ノ續(報告)
第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(報告)	第十 読會ノ續(委員長)	第十 読會ノ續(報告)
第十一 登錄稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)
第十二 印紙稅法中改正法律案(政府提出)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(報告)	第二 読會ノ續(委員長)	第二 読會ノ續(報告)
第十三 砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)
第十四 關稅定率法中改正法律案(政第二十九號)(衆議院提出)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)	第一 読會ノ續(委員長)	第一 読會ノ續(報告)

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ諸般ノ報告ヲ致サセマス
〔小林書記官朗讀〕
去ル十四日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可
決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ
海外移住組合法案
同日本院ニ於テ採擇スルコトヲ議決シタル屯田兵ノ恩給ニ關スル請願外十
三件ノ請願ハ各々意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ
同日豫算委員長ヨリ左ノ如ク分科擔當委員ヲ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出
セリ
第一 分科擔當委員 宮田光雄君
第二 分科擔當委員 淺田徳則君
同日特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

朝鮮事業公債法改正法律案外三件特別委員會

委員長 伯爵 黒木 三次君
副委員長 男爵 岩倉道俱君

家畜傳染病豫防法中改正法律案外一件特別委員會

委員長 子爵 伊集院兼知君
副委員長 三宅秀君

一昨十五日徵兵令改正法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏
名左ノ如シ

委員長 男爵 大井成元君
副委員長 子爵 立花種忠君

同日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

計理士法案可決報告書

銀行法案修正報告書

貯蓄銀行法中改正法律案可決報告書

農工銀行法中改正法律案可決報告書

北海道拓殖銀行法中改正法律案可決報告書

非訟事件手續法中改正法律案可決報告書

登錄稅法中改正法律案可決報告書

印紙稅法中改正法律案可決報告書

關稅定率法中改正法律案(政第二十九號)可決報告書

商事非訟事件印紙法中改正法律案可決報告書

明治四十年法律第二十一號中改正法律案可決報告書

公益質屋法案可決報告書

關稅定率法中改正法律案(政第四十一號)可決報告書

大正十四年法律第五十一號中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

電氣事業法中改正法律案

國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案
國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案

兌換銀行券整理法案

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

大正十二年法律第五十二號中改正法律案

昨十六日委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

朝鮮事業公債法改正法律案可決報告書

臺灣事業公債法中改正法律案可決報告書

關東州事業公債法中改正法律案可決報告書

臺灣官設鐵道用品資金會計法中改正法律案可決報告書

家畜傳染病豫防法中改正法律案可決報告書

請願文書表第九回報告書

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、電氣事業法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

電氣事業法中改正法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和二年三月十五日

衆議院議長 柏谷義三

貴族院議長公爵德川家達殿

電氣事業法中改正法律案

第十六條ノ二 電氣事業ヲ營ム會社ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ第一條第一號ノ事業ニ屬スル電氣工作物ノ施設ノ費用ニ充ツル爲商法第二百條ノ規定

ニ依ル制限ヲ超エテ社債ヲ募集スルコトヲ得但シ社債ノ總額ハ拂込ミタ

ル株金額ノ二倍ヲ超ユルコトヲ得ス

最終ノ貸借對照表ニ依リ會社ニ現存スル財產カ拂込ミタル株金額ニ満タ

サルトキハ前項ノ規定ニ依リ社債ヲ募集スルコトヲ得ス

第一項ノ規定ニ依リ募集スル社債ニ付テハ工場抵當法ニ依リ會社ノ事業ニ屬スルモノヲ抵當ト爲スコトヲ要ス

第十六條ノ三 行政官廳ハ電氣事業者ニ對シ業務及財產ノ狀況ニ關シ検査ヲ爲シ、報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得

第二十條ノ二 正當ノ事由ナクシテ第十六條ノ三ノ規定ニ依ル検査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シ又ハ報告ヲ爲サス若ハ虛偽ノ報告ヲ爲シ其ノ他行政官廳ノ命シタル事項ヲ爲ササル者ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

〔政府委員賴母木桂吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(賴母木桂吉君) 只今上程ニナリマシタ電氣事業法中改正案ノ大要ヲ私ヨリ説明イタシマス、電氣事業法ハ明治四十四年ニ制定セラレタモノデアリマスガ、當時ノ電氣事業ハマダ幼稚デゴザイマシテ、發電力ハ總計約二十六万「キロワット」、資本金總額ハ約二億五千万圓ニ過ギマセヌデシタ、

今日ニ於キマシテハ、發電力ハ約二百八十万「キロワット」、資本金ハ約二十八億ノ巨額ニ上リマシテ、僅々十數年ノ前ニ比較イタシマシテ、十倍以上ニ發達スルノ急激ナル發達ヲ致シマシタ、今後ノ發展亦測ルベカラザルモノガアリマス、從テ政府ハ此際電氣事業ニ關スル諸般ノ問題ニ付テ、根本的調査ヲ致シ、其方策ヲ確立スルノ緊要ナルヲ認メマシテ、別途該委員會設置ニ要スル經費ヲ豫算ニ計上イタシタ次第ゴザイマス、電氣事業界ノ現狀ヲ見マスニ、電力ノ需要ハ年ト共ニ著シク、之ガ供給ノ圓滿ヲ期スル爲ニハ、大發電所ノ建設ヲ要シマス、毎年數億万圓ノ資本ヲ投下イタサナケレバナリマ

セヌノニ、其資金ノ調達ハ頗ル困難ナル事情ガアリマシテ、之ヲ此儘ニ放置イタシマスルナラバ、事業ノ發達ヲ阻礙スルト云フ趣旨ニ於キマシテ、差當リ資金難救ジマシテ、電力供給ノ圓滑ヲ圖ルト云フ宗旨ニ於キマシテ、右申シマス如ク、電氣事業ハ巨額ノ資本ヲ固定セシメ、且ツ其資本ヨリ收益ヲ舉グルニハ相當ノ

歲月ヲ要スル企業デアリマスルガ、其資本ハ之ヲ何レニ求ムベキカト申シマスルニ、今之ヲ株金ニ依リマスルト致シマスレバ、現事業ニ對スル收益率ノ關係カラ致シマシテ、其應募ガ困難デアリマス、又之ヲ借入金ニ求メマスルト致シマスルナラバ、著シク其條件ヲ不利ナラシムルヲ免レヌノデアリマス、

仍テ結局之ヲ社債ニ求ムルヲ以テ最モ適當ト認メマスルガ、現行商法ニハ募債ノ制限ガアリマシテ、資金調達ノ途ト致シマシテハ、十分トハ申サレヌノ

デアリマス、ソコデ本案ハ右制限ヲ緩和スル爲ニ、社債總額ヲ株金拂込額ノ二倍マデ擴張イタシマシテ、電氣事業ノ實際ノ必要ニ適應セシメントスルモ

ノニ外ナラヌノデアリマス、資金難救濟ニ對シマシテハ、以上ノ如キ方法ヲ講ジマンタガ、一面社債權者ノ保護ニ付キマシテハ、事業者ヲシテ相當ノ擔保ヲ提供セシムルコト致シマシタ、又本改正案ニ依ル社債募集ノ認可ニ當リマシテハ、事業ノ內容、募債ノ要否並ニ其條件等ニ付キマシテ、嚴密ナル調査ヲ行ヒマスルト共ニ、一般ニ電氣事業ノ業務及財產ノ檢查監督ニ關スル新タナ規定ヲ加ヘマシテ、以テ取締上ニモ十分遺憾ナキヲ期シテ居リマス、要スルニ電氣ニ對スル國家事業ノ趨勢ニ鑑ミマシテ、又同時ニ重要產業ノ助長ニ資スルガ爲ニ、茲ニ本案ヲ提出イタシマシタ次第ゴザイマス、何卒御審議ノ上速ニ御協賛アラムコトヲ御願イタシマス

○男爵阪谷芳郎君 我ガ國ノ立法ノ上ニ於キマシテハ、社債券ノ發行ハ極メテ嚴重ナル規定ヲ取ッテアルト考ヘマス、デ特ニ勸業銀行、興業銀行ニ對シテハ、產業獎勵ノ爲ニ特例ガ開カレテアル、從テ其監督方法モ立法上詳細ニ決メテアルノデアリマス、然ルニ電氣事業ハ決シテ重要デナイト云フ意味デハアリマセヌ、無論重要ナモノデアルケレドモ、電氣事業ノ爲ニ斯カル特例

ヲ開キ、又段々其特例ガ他ニモ均霑シタイト云フコトニナツハ、遂ニ從來立法上探ラレタ、社債券ト云フモノノ發行ハ其拂込資本ノ額ヲ超過セヌト云フ主義ハ、亂レルヤウニ考ヘル、其點ニ付キマシテハ、政府ハ將來ドウ云フ風ナ御考ヲ持ッテ居ラレルノデアリマスカ、チヨット從來ノ立法例トハ餘程主義ガ反對シタヤウニ見エマスデスガ、是ハ總理大臣ナリ大藏大臣カラ御答辯ヲ願ヒタイ

〔國務大臣片岡直温君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今阪谷男爵ノ御質疑ハ、大藏省ニモ無論關係ガゴザイマスルガ、主トシテ商法關係デアリマシテ、司法大臣ヲ今喚ビニヤリマシタカラ、此處ニ參リマシタラ御答ヲ申上グルヤウニ致シマス

○男爵阪谷芳郎君 只今御答辯ガ出來マセスケレバ、他日ノ機會デ宜シウゴザイマス

○花井卓藏君 條項ニ付テ二點バカリ伺ヒタイノデアリマス、當該大臣ガ御出ニナリマシタナラバ、其大臣ノ御答辯ヲ得タイト思ヒマスガ、若シ總理大臣ヨリ御答ガ得ラレルナラバ、ソレデモ宜シイ、十六條ノ三ニアリマスル「行政官廳」ト云フ文字ガ分ラナイノデアリマス、此當該官廳ハ何レノ官廳デアルカト云フコトヲ伺ヒタイ、ソレカラ尙ホ第十六條ノ同ジ所デアリマスガ、「其ノ他監督上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得」ト書イテアル、此意義ト竝ニアリマス、然レドモ先ヅ其點ニ付テ伺ッテ置キタイ

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今總理大臣ニ御尋デアリマシタガ、是ハ遞信省ノ所管ノコトデアリマスカラ、遞信省ノ政府委員カラ答ヘルコトニ致シタイノデアリマスガ、ソレデハ花井君ハ御不滿デアルノデアリマスカ……

○花井卓藏君 案ハ總理大臣竝ニ遞信大臣ノ副署デ提出ニナツテ居ルノデアリマスカラシテ、總理大臣ニ答ヘラレナイ道理ハナイト考ヘマス

○國務大臣(若槻禮次郎君) 行政官廳ト云フニテ、今日ハ電氣事業ニ付テハ、遞信省

ガ主管廳ニナツテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ行政官廳ト書イテアリマスノハ、遞信省竝ニ遞信省ノ系統ニアリマスル此事務ヲ取扱ッテ居ルモノト、斯ウ云フヤウナ意味デアルノデアリマス、監督上必要ノ處分ト云フノハ、是ハ電氣事業ヲ監督シマスニ付テ、相當……當該事業者ニ向ッテ指示スルコト等、種々アルノデアリマシテ、電氣事業ヲ監督スル上ニ於テ、政府ガ必要ト認ム處分ヲスルト、斯ウ云フ意味デアルノデアリマス、詳細ノコトハ主管廳ノ

政府委員カラ御答ヘ申上グルコトニ致シタイト思ヒマス

○花井卓藏君 只今ノ御答ハ、文字ヲ文字ノ如クニ説明セラレタ譯デ、當方ノ意思ハ毫モ満タサレテ居ナイノデアリマス、併ナガラ政府委員ガ居ラレルト云フコトデアリマスナラバ、先づ政府委員ノ答辯ヲ伺ッテモ宜シウゴザイマス、能ク分ルヤウニ例ヲ示シテ御答ヲ願ヒタイ

〔政府委員賴母木桂吉君演壇ニ登ル〕

○政府委員(賴母木桂吉君) 御答ヘ致シマス、十六條ノ三ノ「行政官廳」ト云フコトハ、ドウ云フコトデアルカト云フ……是ハ只今總理大臣ヨリモ御答ヘニナリマシタガ、此行政官廳ハ電氣事業ヲ所管ヲ致シテ居リマス遞信省ヲ指シタモノデゴザイマス、尙ホ「監督上必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得」、是ハ瓦斯事業法ニ、矢張リ同様ノ條項ガアリマシテ、此條項ヲ準用イタシタモノデアリマス、同様ニ致シタモノデアリマス、解釋ハ、是モ總理大臣カラノ御答ニアリマシタ通ニ、矢張リ文字通リニ監督ヲ致ス必要ノ場合ガアリマシタ場合ニ、之ヲ監督スルト云フ意味ニ外ナラヌノデアリマス、要スルニ瓦斯事業法ト同様ニ致シマシタノデアリマス

○花井卓藏君 行政官廳ト云フノハ遞信省デアルト云フ御答ハ、當ラヌノデヤアリマセヌカ、遞信省ハ勿論デアリマセウガ、其他モウ少シ廣イノデヤナイカト思ヒマス、左様ニ御答ニナリマシテハ、運用ノ上ニ必ズ御困リニナル場合ガ生ズルコトハ明カデアリマス、又法律ノ書キ方ノ用例ト致シマシテ、行政官廳ト書イテアル文字ヲ、遞信省ノミニ限定ヲセラレルト云フヤウナコトニ、私ハ解釋ヲ欲シナインデアリマスシ、立案者モ又サウ云フデアラウカト思ヒ

マスガ、遞信省ト云フ事柄ニ承ルト云フト、「必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得」ト云フ事項ヲ承ツテ見タイト存ジマス、事項ヲ承ツテ居ル、事項ノ御説明ヲ御答ヘニナラヌ、漠然ト「必要ナル事項ヲ命スルコトヲ得」ト書イテアツテ、凡ソ其事項ト云フモノハ例示スレバドンナモノデアルカ、瓦斯事業法ノ準用デアル、斯ウ云フ御答ヘニナッテ居リマスカラ、瓦斯事業法ヲ準用スレバ、瓦斯事業法ニ書イテアルト云フコトニ過ギナイデアラウト思フ、其事項ヲ列舉シテ御説明ヲ願ハヌト云フト、贊否ヲ決スルニ迷フ、斯ウ云フ趣旨デアリマス、併シ御答ガ只今御困リデアルト云フコトデアレバ、強ヒテ只今承ラウト云フコトハ私ハ要求イタシマセヌ。

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 只今花井君ノ御質問ノ、必要ナル處分ト云フ事柄ハ、尙ホ花井君ノ御註文ノ通リニ、事項ヲ細別イタシマシテ、委員會デ説明スルヤウニ致シタイト思セマスカラ、御承知ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、行政官廳ト云フノハ、私申上ゲタノハ、遞信省竝ニ遞信省所管ノ電氣事業ノ所管ヲシテ居ル官廳ト云フ意味ニ前回申上ゲテアリマスカラ、是モ御了承ヲ願ヒタイト思ヒマス。

○花井卓藏君 道信省及道信省所管ノ行政官廳ト申サレテモ、運用ノ上ニ於テ必ズ御困リニナルコトガアラウト云フコトヲ申上ゲテ置キマス、モット私ハ廣イ意味デアラウト考ヘルノデアリマス。

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 先程、阪谷男爵ヨリ御質問ガアツタ趣デゴザイマスガ、私出席イタシテ居リマセヌデゴザイマシテ、モウ一遍簡單ニ御趣旨ヲ御述ベテ願ヘバ仕合セデアルト思ヒマス。

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ御尋ネシマシタノハ、此電氣事業ノ爲ニ斯ウ云フ特例ヲ開クト云フコトハ、從來ノ立法例ニ反スルヤウデアリマス、デ勸業銀行法、興業銀行法ニ在ツテ、ソレゾレ特定ヲシタ監督方法ヲ設ケテ、サウシ

テ資本金以上ノ債券ヲ發行スルト云フコトヲ許シテアル、ソレガ是等ノ銀行業者ガ安イ資金ヲ吸收スルノ手段トナツテ、一般ノ産業ヲ潤ス、然ルニ電氣事業ハ電氣事業トシテ斯カル例ヲ開クコトニナルト、今ハ倍デアルケレドモ、三倍、四倍ト段々殖エテ來ヤセヌカ、ソレカラ電氣事業バカリデナシニ、他ノ事業ニモ其恩典ヲ及ボシタイト云フコトガ始マリマスレバ、商法ノ制限ト云フモノハ遂ニ無用ニ歸スルヤウニナル、ソレ等ニ付テ政府ハドウ云フ御考デアルカ、斯ウ云フ意味デ御尋ネシタノデアリマス。

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 御承知ノ如ク電氣事業ニ付キマシテハ、特別ノ取締法規ガ存在イタシテ居リマシテ、嚴重ナル監督ヲ致シテ居ルノデアリマス、殊ニ今回ノ改正ニ依リマシテ、一層其監督ヲ嚴密ニスルト云フ趣旨ニナッテ居ル次第デアリマスルノデ、社債ガ募集イタサレマシテ、其使途ト云フモノガ極メテ嚴重ノ監督ノ下ニ使ハルルト云フコトガ明カニナルコトデアラウト思フノデアリマス、且ツ電氣事業其モノハ、其資金ガ固定イタシマシテ、決シテ他ニ流用セラル、ト云フガ如キ性質ノモノデアリマセヌガ故ニ、社債ノ擔保トナルニ十分ナルモノデアルト認メラレマスガ故ニ、斯ノ如キ事業ニ對シマシテ、假ニ社債ノ發行額ヲ多少増額イタスト云フコトニ致シマシタ所ガ、決シテ濫ニ流ル、虞レハナイ、斯様ナ意味合ヲ以チマシテ、商法ノ例外ヲ設ケタ次第デアリマス。

○男爵阪谷芳郎君 江木司法大臣ハ勸業銀行法及興業銀行法ヲ讀ンデ居ラレヌノデアリマスカ、是等ノ條例デハ、債券ノ發行ト云フコトヲ特例トシテ、其取締ニ付テ嚴重ナル規定ガ設ケラレテアル、デ商法ノ制限ト云フモノガ：商法制定者ガ、債券ノ發行ニ付テノ弊害ニ鑑ミテ、特ニ資本拂込額以上ニ發行セナイト云フ、茲ニ規定ヲ設ケテアル、併ナガラ一般ノ産業者ニ對シテ、安イ資金ヲ融通スルト云フコトノ必要カラ、勸業銀行法興業銀行法ト云フ條例デ以テ、債券ヲ資本ノ拂込額以上ニ發行シテ差支ナイト云フ、ソレゾレノ規定ガ設ケラレテ許サレテ居ル、然ルニ電氣事業法ハ云々ト云フヤウナ

コトヲ仰シャルト、瓦斯事業モ色ムナコトヲ申立テ、同ジコトニナル、而シテ是ガ倍ト云フコトニ止マラナイ、二倍三倍ト云フコトニナルト、商法ヲ制定ニナツタ根本精神ト云フモノガ消エテシマフコトニナルノハ明カデアル、サウ云フ意味デ政府ハ此電氣事業法ヲ許サレテ居ルノカ、ト云フノガ本員ノ問ナンデアル、本員ハ矢張リ從來ノ立法例ニ依ツテ、勸業銀行興業銀行ニ限ッテ、極メテ嚴密ナ取締法ヲ設ケテ許サレテアル、是ハ一般ノ事業ガ此低利資金ノ恩典ニ浴スルコトニナル、併ナガラ段々ソレガ擴マツテ行クナラバ、何モ立案セラレタ精神ニ反スル、勸業銀行興業銀行ヲ設ケテ、政府ガ今日マテ一般産業界ヲ發達セシムルト云フ意思ニ反スルノデ、非常ニ從來ノ立法例、商法ヲ壞ハシテマデ爲サネバナラヌト云フ理由ハ無イヂヤナイカ、斯ウ思フ、是ハ司法大臣ノ御辯明デハ理由ニナラナイ

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 私ノ申上グタ趣旨ハ、大體斯ウ云フコトナンデアリマス、電氣事業ガ商法ノ原則ニ依ルダケヲ以テシテハ、其事業ヲ遂行スルノニ甚ダ不便デアル、即チ資本拂込額ダケノ社債發行デハ、目下盛ニ起リツ、アル所ノ電氣事業ヲ遂行スルノニ甚ダ不便デアル、各電氣會社ニ於テモ、盛ニ社債發行ヲ希望シテ居ルノデアル、然ルニ商法ノ制限ニ依テ發行ガ出來ナイ、事業界ノ方カラ申シマスレバ、電氣事業界ハ社債發行ヲ増加スルコトノ必要ガ有ルノデアリマス、而シテ電氣事業其モノヲ見ルト、ドウデアルカト云フト、社債ニ依ツテ得マシタ所ノ資金ト云フモノハ、直チニ有形ノ財產セシメルヤウニ法律ニ認メテ居リマスルコトハ、只今阪谷男爵ノ御述ベニナニ固定スルモノデアリマス、十分ナル擔保力ヲ持ツテ居ルモノデアル、且ツ事業其モノハドウデアルカト云フト、嚴密ナル行政官廳ノ監督ヲ受クル所ノ事業デアル、決シテ債務者ニ對シテ迷惑ヲ掛ケルト云フヤウナコトハ無イ筈ノモノデアルガ故ニ、左様ナ性質ノモノデアレバ、社債發行額ノ制限ヲ緩和シテ差

支ナガラウ、斯様ナ趣旨ヲ以テ起案ヲシタト云フ、斯ウ云フコトヲ申上グタンデアリマス、決シテ電氣事業ニ此制限ヲ緩クスルガ故ニ、他ノ事業迄ニ之ヲ擴ゲヤウト云フ意味ハ……考ヲ持ツテ居ルノデモ何デナイノデアリマス、況ヤ電氣事業ガ他日之ヲ三倍ニスル四五倍ニモスルト云フ考ハ、今日毛頭持テ居ライノデアリマス

○男爵阪谷芳郎君 今日持ツテ居ラヌト云フコトハ、無論明瞭デアリマスガ、明日持タレハセヌカト云フコトハ、不明瞭デアリマス、一ツ斯ウ云フコトヲ許サレ、バ、アトノモノニ許サヌト云フ理由ガ無イヂヤナイカ、電氣事業モ、生産事業モ、又外ノ事業モ何モ變リハアリハシナイ、同ジ規定ヲ御設ケニナレバ、外ノ事業モ御許シニナツテモ差支ナイ、ソレガ許サヌト云フノハ、商法ノ根本精神デアル、併シソレデハ一般ノ事業ガ困ルカラ、勸業銀行、興業銀行ト云フ特殊ノ制度ヲ造ツテ、ソレニ債券ノ發行ダケハ委ネヤウ、丁度恰モ日本銀行ニ兌換券ノ發行ヲ許シテ居ルト同ジ種類ニ於テ出來テ居ル、ソレガ善イトカ惡イトカ云フコトナラバ別論デアル、ダカラ私ノ問ヒタインハ、電氣事業モ御許シニナレバ、外ノ事業ノ同ジ狀態ニアルモノハ許スノカ、許サヌノカ、今日ハ許サヌガ明日ハ許スノデアルカト云フコトヲ問フノデアリマス、ソレカラ大藏大臣ナリ總理大臣ハ、勸業銀行、興業銀行ノ特例ハ必要ハナイト、斯ウ云フ風ニ考ヘラレテ居ル、產業政策ヲ御改メニナルノカ、此二點ヲ確メタインデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 事業資金ヲ成ルベク潤澤ニ供給スルガ爲ニ、勸業銀行、興業銀行、農工銀行等ニ特ニ社債ヲ資本金ノ十倍ト……澤山ニ發行セシメルヤウニ法律ニ認メテ居リマスルコトハ、只今阪谷男爵ノ御述ベニナル通リデアリマス、ソレト共ニ、是等ノ銀行ハ重役ノ選任其他ノ事ニ於テ、政府ノ十分ナル監督ノ下ニ置カレテアリマシテ、株金額ノ何倍ト云フ社債ヲ發行シテモ、之ガ償還ニ付テ不安ノナイヤウナ途ガ立テアルコトモ亦、阪谷男爵ノ御述ベニナル通デアリマス、大體ハ商法ニ於テ、社債ノ發行ハ株金

額ニ止メルトシテ、稍、株金ヲ擔保ニシテ社債ヲ出スト云フ仕組ガ立テテアリ
ニ除外例ヲ設ケタノハ、丁度阪谷男爵ノ御指摘ニナルヤウナ、特ニ工業資金、之
農業資金ヲ作ル爲ニ、社債ヲ澤山發行セシメル必要ガアル、サウ云フモノニ
ハ又特別ノ監督ノ方法ヲ設ケテ危ナクナイヤウニスルト云フ仕組ニナツテ居
ルノデアリマスカラ、是ハ破リタクナインデアリマス、唯、此度電氣事業ニ付
テノミ、株金ノ二倍マデ社債ヲ募集スルコトガ出來ルコトニナリマシタノハ、
先程政府委員ガ説明ヲ致シマシタ通リ、電氣事業ハ今後尙ホ大イニ起サヌケ
レバナラヌ、電力ノ供給ト云フコトガ、今後ノ生産事業ニハ、根本ニナルト
云ツテモ宜イ位ニ是ハ必要デアル、サウシテ其資金ハ非常ニ多額ヲ要スル、一
方ニハ極メテ必要ナ事業デアリ、サウシテ資金ガ多額ニ要ル、サウシテ勸業
銀行ナリ農工銀行ナリガ假令バ社債ヲ募集シマシテモ、之ヲ事業會社トシテ
借リテ置キマス場合ト、自ラ社債ヲ發行スル場合トデバ、自ラ社債ヲ發行ス
ル場合ニ便宜ガ多イモノデスカラ、其極メテ必要ナル事業デ、又資本ヲ要ス
ルコトガ割合ニ今日ハ多イ事業ニ付テ、特別ニ國法上ニ便法ヲ設ケテ、其事
業ノ促進ヲシヤウ、此意味ニ於テ此度電氣事業ニ限ッテ社債二倍ト云フコト
ヲ許サウトスルノデアリマス、商法ノ、大體株金ヲ擔保ニ社債ヲ出サナケレ
バナラヌ、株金ノ額ヲ超エテハナラヌト云フ精神ハ、政府ハ何處マデモ維持
シテ、之ヲ超ユルモノニ付テハ、特別ノ理由アルモノ、之ニ限リタイ、斯ウ
考ヘテ居リマス

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ質問ニ對シテハ、一向御答辯ニナラヌヤウニ思ヒ
マス、唯政府ガ便宜ニ斯ウシタンダト云フコトニ過ギマセヌ、何遍問答シマ
シテモ同ジコトデスカラ、宜シウゴザイマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

〔小林書記官朗讀〕

電氣事業法中改正法律案特別委員會

御答シタ通りデアリマスルガ、尙ホ電氣事業ハ特別ノ監督ニ屬シテ居ル所ノ
公益的ノ事業デアルト云フ以外ニ、今回社債ノ發行ノ除外ヲ許スニ付キマシ
テハ、其社債ノ……第一項ニ依リマシテ募集スル所ノ社債ニ付キマシテハ、
全然工場抵當法ニ依リマシテ、會社ノ事業ニ屬スルモノヲ、所謂工場抵當ト
爲スト云フ條件ヲ附シテ居ル次第デアリマスルガ故ニ、之ガ爲ニ決シテ債權
者ノ利益ヲ害スルコトハ全然ナイト認メマスルノデ、斯様ナ工場抵當ト云フ
ガ如キ有形ノ債權擔保ノ財產ヲ有スルニ於キマシテハ、弊害ノ生ズルコトハ
ナイト、斯様ナ意味合ヲ以チマシテ、此案ヲ提出シタ次第デゴザイマス

云ツテモ宜イ位ニ是ハ必要デアル、サウシテ其資金ハ非常ニ多額ヲ要スル、一方ニハ極メテ必要ナ事業デアリ、サウシテ資金ガ多額ニ要ル、サウシテ勸業銀行ナリ農工銀行ナリガ假令バ社債ヲ募集シマシテモ、之ヲ事業會社トシテ借リテ置キマス場合ト、自ラ社債ヲ發行スル場合トデバ、自ラ社債ヲ發行スル場合ニ便宜ガ多イモノデスカラ、其極メテ必要ナル事業デ、又資本ヲ要スル場合ニ便宜ガ割合ニ今日ハ多イ事業ニ付テ、特別ニ國法上ニ便法ヲ設ケテ、其事業ノ促進ヲシャウ、此意味ニ於テ此度電氣事業ニ限ツテ社債二倍ト云フコトヲ許サウトスルノデアリマス、商法ノ、大體株金ヲ擔保ニ社債ヲ出サナケレ

○男爵阪谷芳郎君 本員ノ質問ニ對シテハ、一向御答辯ニナラヌヤウニ思ヒ
マス、唯政府ガ便宜ニ斯ウシタンダト云フコトニ過ギマセヌ、何遍問答シマ
シテモ同ジコトデスカラ、宜シウゴザイマス

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル

○國務大臣(江木翼君) 既ニ御必要ナイト云フコトデゴザイマスガ、尙ホ念ノ爲ニ補足ヲ致シテ置キタイト思ヒマス、先程申上ゲマシタ如ク、此商法ノ除外ヲ設ケマスコトハ、電氣事業ニ限リマスト云フコトハ、只今總理大臣ガ

〔高橋琢也君發言ノ許可ヲ求ム〕

致シタイト思ヒマヌルか、御許シヲ願ヒマ
トデゴザイマスガ、其要求ヲ許シテ御異存ズ
○議長(公爵徳川家達君) 高橋琢也君ハ此際

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

〔高橋琢也君演壇ニ登ル〕

〔高橋琢也君發言ノ許可ヲ求ム〕

侯爵佐佐木行忠君 伯爵酒井忠克君 子爵石川成秀君
子爵秋田重季君 子爵岩城隆徳君 男爵赤松範一君
倉知鐵吉君 竹越與三郎君 田村新吉君

○議長(公爵徳川家達君) 高橋琢也君ハドウ云フコトデスカ
○高橋琢也君 私ハ此際ニ震災手形損失補償法ノ案ニ付キマシテ、衆議院ノ
議事ガ大變混亂シテ居ルヤウニ聞イテ居リマス、又其他今日ハ既ニ告訴マデ
モ此件ニ付テ出テ居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、ソレ故ニ緊急ノ質問ヲ
致シタイト思ヒマスルガ、御許シヲ願ヒマス

○議長(公爵徳川家達君) 高橋琢也君ハ此際緊急質疑ヲ爲トデゴザイマスガ、其要求ヲ許シテ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○高橋琢也君 議案ノ輻湊シテ居リマスル際ニ、殊更ニ緊急ノ質疑ヲナシマスル如キハ相濟マヌコトトハ存ジテ居リマスルガ、併シ如何ニモ黙過スル能ハザル事態ニ差迫ッテ居リマスル故ニ、緊急ノ質疑ヲ致シマスル次第デゴザイマス、最近衆議院ニ於テ、片岡大藏大臣ガ御答辯ヲナサッタ、其結果衆議院ハ非常ナ波瀾ヲ起シテ居ルコトニ承ツテ居リマス、之ニ對シマシテ、丁度震災手形處理、損失補償法案ガ本院ノ委員會デ審議最中デゴザリマスルノデ、是ハ一日モ緩ウシテ置ケナイ事情ト存ジマスルデ、此問題ヲ出シマシタノデゴザイマス、單リ衆議院ノ方面デ大變ナ物議ガ起リマシタバカリデナク、一面ニ於キマシテハ上村辯護士ガ司法省……裁判所ニ向ッテ告發ヲセラレタト云フコトガゴザイマスル、此事ハ新聞紙ノ傳フル所デゴザイマスルカラ、果シテ然ルヤ否ヤト云フコトハ、私ハ確言ハ能ウ致シマセヌ、此點ニ付キマシテハ、司法大臣ニ伺ハウト思ヒマスル、若シ是ガ事實デゴザリマスルトスレバ、此震災手形損失ノ補償ト云フコトハ、非常ニ重大ナ事柄デアルト存ジマスル、第一司法大臣ニ伺ヒマスルガ、斯様ナ告發ガ裁判所ニ出テ居リマスルカ、果シテ出テ居リマスルト云フコトナラバ、只今ドウ云フ御詮議振リニナリツツカラ此事ハ、曩ニ該法案ガ此議場ニ上ボリマシタ場合ニ、私ハ如何ニモ氣遣ハシイカラ、種々質問ヲ致シタ次第デゴザイマス、當時大藏大臣ハ、此補償ノコトハ、先ノ内閣ガシタコトデアシテ、一億圓ノ補償ハ、前ノ内閣ガ承認シテ居ルノデアル、ソレヲ此内閣ガ引繼イデヤルノデアルト、斯ウ云フヤウニ御答辯ニナリ、後ノ一億七百万圓ヲ殊更御加ヘニナッタコトニ付テハ、御答辯ガナイ、無イノミナラズ、貴様ハ餘計ナコトヲ言フ、前ノ是ハ引掛リ上カラデヤナイカト仰シヤルヤウナ、誠ニ無責任ナル御答辯デアル、私ハ其際之ヲ追窮スルコトハ承知シテ居リマスガ、是ハ何レ特別委員ノ中デ十分ニ御審議下サルコトデアラウト思タカラ、差控ヘマシタ、段々其後ノ特別委員會ニ對スル御答辯、衆議院ノ豫算委員會、或ハ本議場デノ御答辯、頗ル私ハ不安ノ念ヲ増シツ、アルノデゴザイマス、如何トナラバ、大藏大臣ガ仰シヤル毎

ニ、御答辯ガ違ツテ居ル、是ハドウ云フ譯デアルカ、初メヨリ既ニ各銀行、或ハ商店、是等ガドレ程此手形ヲ持ツテ居ルカ、ドウナルノデアルカト云フコトハ、私ハ此議場デ御伺ヒシタノデアル、ソレハ絶對ニ言ヘナイト云ウテ御話ガナカッタ、然ルニ近頃アチラデ攻メラレ、コチラデ叩カレシタ結果、小出シニ少シヅツオ出シニナル、此小出シハ一體ドウ云フ譯デアルカ、アノ位シヤツタナラバ、皆安心ヲシテ、誰モ是ハ必要ナモノダカラ贊成ヲシナケレバナラヌト云ウテ、政府ノ大變御利益ニナルコトデヤナカッタカト思フ、然ルニ最初ハ包ミ隠シノ出來得ルダケ隠シテ置イテ、今ニナツテ尻ヲ突ツカレ、頭ヲ叩カレ、已ムコトヲ得ズ、少シヅツ小出シヲシテ行ク、是ハ國務大臣ノナルコトト言ハレヤウカ、私ハ驚入ルノデアリマス、或ハ六千万圓ト云ヒ、或ハ八千万圓ト云ヒ、遂ニ是ハ臺灣銀行ヲ救フノデアルト云ハヌバカリノ答辯モシテ居ル、鈴木商店ヲ救濟シナケレバナラヌコト、裏面カラ見ラレルヤウナ御答辯モ出テ居ル、是ハ何ノコトデアル、甚シキハマダ危篤ノ報モ傳ヘラレテ居ラナイ病人ヲ、藥違ヒト云フカ、ムザク殺シテシマフ、此證據ハ何處ニアル、衆議院ノ御答辯デ明カデアル、否ソレノミデナイ、今朝ノ日本新聞ニ、渡邊勝三郎、渡邊六郎ノ名前ヲ以テ廣告ガ出テ居ル、此二銀行ノ廣告、已ムヲ得ズ、突然ノ出來事デ已ムコトヲ得ズ支拂ヲ停止シタ、斯ウ云フノデアル、斯ウ確カニ讀メルノデアル、大藏大臣ハ取付ガ來テ騒ギヲ起シタ、銀行ガ支拂ヲ確カニ停止シタト云フコトニ付テ、質問デモ出タナラバ御答辯ナサルノモ當然デアル、誰モ質問シナケレバ聽キモシナイコトヲ、自カラ進ンデ一銀行ノ破綻ヲ公言セラレタ、是マデ例ノナイコトデアル、若モ之ヲ大藏大臣以外ノ人ガヤツタラドウナサル、警視廳ハ直グニ引張ツテ行クデセウ、引張ツテ少クトモ先づ拘留スル、併シ片岡直温ト云フ人ハ大藏大臣デアルカラ、直グ引張ルコトガ出來ナイト云フ理由ハ、刑大夫ニ上ラズト云フノハ昔ノ話デ、今デハ矢張リ一片岡直温ト引張ルノハ少シモ差支ナイ話デアル、財界ノ攬亂者ト云フコトヲ天下萬衆ガ皆認メテ居ル、單リ議員バカリデ

ハナイ、然ルニ平然トシテ大藏大臣ノ職ニ居ラレルカラシテ、私ハ分ラヌト思フ、又國民ニ關係ハナイト言ハレタ、尤モ是ハ御取消ニナッタト云フコトヲ聞イテ居ル、ツヒ頭ガフラ／＼トシタカラ、ウッカリシテ言ッタトスウ云フ、二十億ニ近イ昭和二年ノ豫算ノ此切盛ヲシテ、處分ヲ一身ニ任ジテセラレル大藏大臣ガ、若シ頭ガフラ／＼トシテ二十億圓ヲ何處カヘフイットヤッテシマハレタト云ウタラドウシマスカ、此様ナ危ナイコトハナイ、頭ガフラ／＼トシタカラ、ウッカリ言ッタ、ウッカリ言ッタト云フヤウナ、ドウモ其様ナ迂闊ナハ議員トシテ決シテ處決ナサイトハ申上ゲナイ、左様ナ大膽ナコトハ能ウ申上ゲラレヌ、併ナガラ昔ノ武士デナクトモ、其位ナコトハ御承知ガナクテハ、苟モ日本今日ノ大藏大臣、二十億ノ金ヲ出シタリ入レタリスル大藏大臣トシテ、其位ノ御覺悟ガ無クテハナラヌコトデアルト考ヘマス、之ニ對スル大藏大臣ノ御考如何、之ヲ伺ヒタイ、又總理大臣モ、一大藏大臣ガ大切デアルカ、八千万國民ガ大切デアルカ、ソレハ伺ハヌデモ分ッテ居ル筈デアル、然ラバ斯ノ如キ大藏大臣ヲ、矢張リ其局ニ据エテ置イテ、國民ハ安心スルカ、議會ハ是デ苦情ハ言ハナイモノト、議論ハシナイモノト、斯ウ御考ヘニナルカ、私ハマサカサウデモアルマイト思フ、故ニ此點ニ對スル總理大臣ノ御考ヲ承リタイ、今申上ゲタ兩銀行ノ廣告ノ中ニハ、預金者諸君ニ對シテハ甚ダ相濟マヌ、突然斯ウ云フコトガ起ッタカラ、銀行ハ一時支拂ヲ停止シタガ、併シ政府當局竝ニ日本銀行ハ、本行ニ同情ヲシテ救濟ヲシテ下サル筈デアル、斯ウ云フヤウナコトガ書イテアル、大藏大臣ガ餘計ナコトヲ言ッタ爲ニ今度ハ之ヲ救ハナケレバナラヌヤウニナル、其救フト云フ點ニ付テハ、誰ガ迷惑スル、國民ガ迷惑ヲスルノデアル、大藏大臣ハ數千万ノ資産ヲ持ッテオイデニナルト承ルケレドモ、大藏大臣ハ御自分ノ資産ヲ割イテ御助ケニナルノデハナイデアラウ、必ズ是ハ國庫カラ之ヲ御出シニナル、國庫カラ直接若クハ間接ニ御出シニナル、日本銀行ヲシテ之ヲ助ケサスト云フニ至ッテモ、何等カ斯ウ云フ

點ニ付テ國民ノ損失ニナルト云フコトハ、論ノナイ話デアル、サア此處マデ至ルト云フト、銀行ハ或ハ却テ仕合セヲシタコトデアルカモ存ゼヌ、併シ可デハナカッタノデアルト云フコトハ明カデアル、元來當日銀行ノ重役ガ大藏省ヘ行ッタノハ、銀行ハ斯ク／＼ノ次第デアルカラ救ツテ貴ヒタイ、差向キル、三十餘万圓ノ爲替尻ガスウ云フコトヲ願ッタト聞イテ居ル、帳尻ガスウ云フコトニナッテ居ルト云フヤウナコトヲ願ヒタ、帳尻ガスウ云フコトニナッテ居ルト云ウテ願ヒニ來タノデアル、窺鳥懷ニ入レバ獵夫モ之ヲ捕ラズト、云ツテ、獵師デスラ鳥ヲ助ケル、然ルニア、好イ囮ガ來タ、是ハ捕マヘテ之ヲ餌ニ震災手形ノ方デソーラ見タカ、コンナ事デモ直グニ銀行ニハ響クンダヨ、震災手形ヲ補償シテヤルト云フ法案ガ通ラヌ以上ハ、直グスウ云フコトガ起ルゾヨト云ウテ、實ハ何カノ爲ニスル御考デアレヲベロリトオ喋リニナッタノカ知レナオ、爲ドコロヂヤナイ、俗ニ謂フ仰向キノ唾デ、上ニ向ッテシタ唾ガ自分ノ頭ニ當ッタ同ジ事デアル、ソレ故ニ私ハ、此様ナコトデ兩院議員ヲ瞞著シヤウト云ツテモ、ナカ／＼今日ノ兩院議員ハ、ソンナコトデ瞞著ハ出來ナイト思フ、或ハ研究會ニ縋レバコイツハ大丈夫ト云ウテモ、研究會ダツテ、研究會ノ方ニハナカ／＼ドナタモ正論家バカリデアルカラ、容易ニソンナ事ニ耳ヲ藉ス譯ノモノヂヤナイ、其證據ハ既ニ此間僅ニ九名委員ト十五名委員トノ問題デ、ドウデゴザイマセウ、研究會ハ九名委員トシテ黨議マデチヤント決メマシタニ拘ラズ、十五名說ガ成立ツタ、甚シキハ研究會ノ中ニ裏切者ガ出タト云ウテ、内輪デヤカマシイコトヲ言ハレタ幹部ガアルトカ聞イテ居ルケレドモ、是ハ事實デモナカラウガ、併シ矢張リ正論ハ正論デ仕方ガナイ、研究會ノ中ニモナカ／＼正論家ガアルカラ、ドッコイ前晚内閣書記官長ガ總理ノ命ヲ受ケテ使ニ來タト云フ位ノ事デハ、研究會ハ矢張リ全部纏マリハ付カナイト私ハ思フ、ソレデアルカラ結果ハ御覽ナサイ、當時最初ニ立ッタ人ハマダモウ四五十人モ多カラウト思ッタガ、記名投票ニナッタ御蔭デ、幸ニ二十五名ノ多數デ研究會ガ失敗セラレタ位ニ止マッタノデアル、併シ今度ノ震災手

形、損失補償ノ二案ハ、私ハサウ易ト通過セヌデアラウト思フ、通過セヌ位ノ話デハナイ、私ニ茲ニ政府ニ伺ヒタイ、政府ハ此際之ヲ撤回ナサルノガ誠ニ當然ノ事ト思フ、又良策ト思フ、故ニ此案ハ此際撤回ナサル御考ハナイカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、何故ナラバ、一番無事デ宜シイ、議員諸君モ、委員諸君モ、色々ノ疑ヲ受ケナクテモ宜シイ、何處カラ頼ミニ來タ、殊ニ研究會ニハ此特別委員會ノ委員長ヲシテ御イデナサル林伯ガ御イデニナル、林伯ハ嘗テ英國製ノ「ビスケット」云々ト仰シヤツタ御方デアルノダ、大概是等ハ相場ガ分ツテ居ルト信ジテ居ル、ソレ故ニ決シテ委員長其人モ之ヲ無事ニ通サウトハ思ツテ居ラヌダラウト思フ、少クトモ是ガ延期説ガ出テ、後ノ一億七百万圓ハ此際必要ハナイト云フ論ガ起ツテ來ルダラウト思フ、丁度大藏大臣ガ、是ハ前内閣時代ノ懸案デアル、我ムガ已ムヲ得ズ引續イテシテ居ルト仰シヤル、一億圓ダケヲヤツバリ延バシテ行ケバ宜イ、現ニ是ガ甚シイノハ震災ニ關係ノナイ或ル銀行ガ「スタンプ」ヲ捺シテアル爲ニ金融ヲシテ居ルコトモ、私ハ聞イテ居ル、ソレモ茲デ言ヘト仰シヤレバ言フガ、ソレ程ノ必要ガナイト思フカラ言ハナイ、ソレニハ面白イ話モ澤山アルガ、ソレハ今日此時間ノ忙ガシイ時ニ、ソレヲ申ス暇ガナイ、少クトモ是ダケノコトハ、政府ノ御所見ヲ承ル爲ニ、私ハ是ニ立ツタノデアル、實ニ萬已ムヲ得ヌコトデアルノデスカラ、政府ハ正直ナ御答辯ヲシテ戴キタイト考ヘルノデアル

〔國務大臣江木翼君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(江木翼君) 只今高橋君ヨリ震災手形ニ關係シタル事柄ニ付テ、何カ告發ガ有ツタカドウカ、斯様ナ意味ノ御尋ガアッタノデアリマス、昨日デアリマシタカ、一昨日デアリマシタカ、或ル辯護士ガ大審院ノ檢事局ニ参ラレマシテ、色ムト話ガアツタ云フコトハ、承ツテ居リマスガ、未ダ巨細ノ報告ニ未ダ報告ニ接シテ居ラヌノデアリマス、其後新聞ニ依ツテ見マスルト、何カ告發ガ有ツタ云フコトニ承ツテ居リマスガ、未ダ巨細ノ報告ニ接シテ居リマセヌ、併ナガラ假令委細ノ報告ヲ司法大臣ガ受取リマシテモ、御承知ノ如ク、告發ノ内容デアリマスルトカ、或ハ其巨細ノ事柄ニ涉リマシテハ、個人ノ名

譽ニ關スルコトモアリマセウシ、公ケノ席ニ於キマシテ之ヲ公表スルコトハ、斷ジテ出來ナイコトナノデアリマシテ、未ダ左様ナコトハ致シテ居ラヌカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ、何故ナラバ、一番無事デ宜シイ、議員諸君モ、委員諸君モ、色々ノ疑ヲ受ケナクテモ宜シイ、何處カラ頼ミニ來タ、殊ニ研究會ニハ此特別委員會ノ委員長ヲシテ御イデナサル林伯ガ御イデニナル、林伯ハ嘗テ英國製ノ「ビスケット」云々ト仰シヤツタ御方デアルノダ、大概是等ハ斯様ナコトガアッタナラバ、直チニ之ヲ引括ルノハ當然デヤナイカ、ト云ハス様ナコトガアッタナラバ、直チニ之ヲ引括ルノハ當然デヤナイカ、ト云ハス様ナコトガアッタナラバ、直チニ之ヲ引括ルノハ當然デヤナイカ、ト云フヤウナ意味合ノコトヲ御述ベニナツタヤウデアリマス、大藏大臣ハ銀行ノ責任者ヨリ報告ヲ得テ、其報告ニ基キマシテ發言ヲ致シタコトデアリマス、議員ノ質問ニ對シテ國務大臣ガ答辯ヲ致シ、必要ト認ムル場合ニ於テ相當ナル發言ヲ致シマスルコトハ、國務大臣當然ノ職務デアリマス、所謂正當ノ義務ノ執行ヲナシタノニ過ギナインデアリマス、況ヤ其發言イタシマシタ所ハ、銀行ノ責任者ヨリ得マシタ所ノ報告ニ基イテ、何等虛偽ノコトデナイ、當然ナコトヲ相當ナ場合ニ述ベタト云フコトデアリマスカラ、何等法律上ノ問題ガ起ルベキ譯ハ斷ジテ無イト思フノデアリマス、是ダケ御答ヘ申上ゲマス

○國務大臣(片岡直温君) 只今高橋君ヨリ震災手形ニ關係シタル事柄ニ付キマシテ、衆議院ニ於テ種々ノ議論ガ行ハレテ居ルト云フコトヨリシテ、私ノ説明、答辯等ニ付テ御尋ネニ相成ツタノデアリマス、之ニ對シテ正直ナル答ヲシロト云フ、斯ウ云フ御求メデアリマス、御求メニ從ヒマシテ御答ヲ申上ゲタイト存ジマスル、御言葉中ニ、一億万圓ハ先キノ内閣當時ニ於テ決メタ事柄デアッテ、其續キヲ現内閣ニ於テシテ居ルト云フ説明ハシタガ、一億七百万圓ニ對スル説明ハシナカツタ、斯ウ云フコトガ御質疑ノ初メノ方ニ御述ベニナツタ御言葉デアリマス、今私ハ速記録ヲ持ツテ居リマセヌカラ、之ニ當嵌メテ申上ケルコトハ出來マセヌガ、本案説明ノ當日ニ於テ、高橋君ノ御質疑ニ對シテ、相當説明ヲ致シタ積リデアリマス、ノミナラズ既ニ處理法案其モノハ、一億圓並ニ殘リノ一億七百万圓ニ對スル處置ノ法律デアリマス、其法律ヲ茲デ説明ヲ致シマシタ時ニ、一億七百万圓ノコトヲ何ニモ言ハ

ナカッタト仰セラレルコトハ、是ハ私ハ今更不思議ニ考ヘル位デアリマス、抑兩案ヲ提出イタシマシタコトハ、當時ニ於テモ當席ニ於テ説明ヲシ、委員會ニ於テモ屢々説明ニ努メテ居ルノデアリマスガ、即チ震災當時ニ於テ非常ノ混亂ヲ致シマシタ状態ヲ鎮メル爲ニ、猶豫令ヲ布イタノデアリマス、即チ支拂等ニ對スル總テノ猶豫ノ法令ヲ布イテ、ソレデ金ノ催促ヲスルトカ、支拂問題トカ云フガ如キコトヲ先づ押へ、ソレデハ併シ金融ハサッパリ塞ガッテシマフノデアリマスカラ、茲ニ金融疏通ノ途ヲ開カナケレバナラヌト云フコトヨリシテ、種々考慮ノ結果、當時二十一億圓程ノ手形ガ流通シテ居ツタ時デゴザイマスカラ、此流通ノ途ヲ開クニハ、日本銀行ガ容易ニ割引ヲスルト億圓位ナモノヲ日本銀行ガ割引ヲスルト致シマシタナラバ、アトハ普通銀行云フ途ヲ開カスルコトガ、最モ必要ニ急デアル、假ニ二十一億圓ノ中ニ五億圓位ナモノヲ日本銀行ガ割引ヲスルト致シマシタナラバ、アトハ普通銀行ニ於テ疏通ガ出來ルデアラウ、普通銀行ノ方デ疏通ノ出來ル手形ハ、比較的良イ手形デアル、日本銀行ヘ持ツテ來ル方ハ、決済ノ比較的出來難イ方ガ行クニ違ヒナイ、サウスルト五億圓ノ割引ヲスル中ニハ、其二割位ハ損ニナルデアラウ、日本銀行ガ此金融疏通ノ爲ニ酷ク損失ヲスルコトヲ顧慮シナイト云フコトデアルト、中央銀行タル所ノ機能ヲ傷ツケルコトニナルカラ、ソコヲ考ヘテ置カナケレバナラヌトシテ、一億圓ヲ國家ガ補償スルト云フコトニ決メテ、サウンシテ緊急勅令ヲ布キ、同時ニ一般金融業者ヲ、大藏大臣ノ官邸デアツカ、大藏省デアリマシタカ、チヨット其當時ノコトヲ覺エマセヌガ、大藏大臣ハ金融業者ヲ集メマシテ、今回ノ勅令ノ趣旨ハ、金融疏通ノ途ヲ安心シテ開カスル趣旨カラヤツタノデアッテ、日本銀行ニ於テハ成ルベク容易ニ此手形ノ割引ヲサセルコトニシタ、就テハ普通銀行業者ニ於テモ、此手形ノ圓滿ニ流通スルヤウニ努メテ貰ヒタイト云フコトヲ懇談ヲシ、又日本銀行ハ各支店ニ向ツテモ、此勅令ノ趣旨ハ斯ウ云フ次第ノモノデアルカラ、手形ノ割引ヲ求メテ來タ時ニ於テハ、成ルベク容易ニ割引ヲスルヤウニ努メナケレバナラヌト云フ趣旨ヲ通達シ、斯様ニシテ以テ當時ノ金融ヲ圖ッタモノニアリマス、此緊急勅令ガ後ニ法律トナッテ、今日ニ存シ來ツテ居ル、此緊急勅令

ニ依ツテ當時ノ金融ハ疏通サレタノデ、是ハ當時ノ政府ノヤツタ所ノ大成功デアルト申サナケレバナラヌ事柄デアルト思フノデアリマス、而シテ日本銀行ガ割引ヲ致シタモノハ、五億圓ノ豫定デアッタノガ、ソレガ四億三千万圓デ濟ンダ、其四億三千万圓モ今日マデノ經過中ニ於テ、二億七百万圓殘ツテ、アトハ決済サレテ、其二億七百万圓殘ツテ居ル、此手形ト云フモノノ今後ニ於テ決算サレルコトヲ考ヘテ見マスルト、昨年下半期中ニ於テ、僅ニ百二十万圓位シカ決済ガサレテ居ラヌノデアリマスカラ、此殘ツテ來テ居ルモノハ、今後一年ニ延ベタト云フコトニ依ツテ解決ハ付カナイ、斯ウ考ヘタノデアリマス、ソレト同時ニ經濟界全體ガ、整理スベキモノハ相當官民共ニ整理ヲ努メテ來テ、此手形ノ如キガモウ行キ詰シテ居ルノデアリマス、所謂經濟界ノ癌腫ト稱セラレルヤウナモノニナツテ居ル、ソレ故ニ此問題ヲ片付ケナイト、財界ノ安定ヲ……全部ニ向ツテノ安定ヲ見ルコトハ出來得ナイ、之ヲ延期々々ト云フコトニシテハ、是ハ所謂財界ノ安定ヲ圖ル所以デナイ、今年ノ九月三十日ガ期限デアルカラ、其期限マデニハ此震災手形ヲ片付ケタイ、片付ケナケレバナラヌ、斯ウ信ジタノガ、即チ此一億圓ヲ補償スルト云フ約束ヲシテ居リマスル所ノ補償法案デアリマス、儲テ二億七百万圓アル中デ、一億圓ハ國ガ補償スルト云フコトニ相成ツテ居リマシテ、之ヲ九月三十日ニ補償スベキ部分ヲ處置ヲ致シマスルト、アトニ残ルモノハ國ノ補償セラレルモノデナイト云フコトガハツキリスル、サウスルト今ハ二億七百万圓ト云フモノノ中ニ國ガ一億圓ハ補償シテ吳レルト云フコトニ依ツテ持テ、來テ居ルノデアリマスガ、ソレガ一億圓ハ國ガ補償シテ、アトノモノハモウ國ハ何モ見ナイト斯ウ茲ニハツキリ致シマシタ時ニ、其殘ツテ居ル手形ニ融通ヲ致シテ居ル……割引ヲシテ居ル普通銀行者ハ、直チニ回収ガ出來ル位ナ手形ナラ何ニモ仔細ハアリマスガ、サウデナイ以上ハ、金融上甚ダ困難デアリマス、而シテ其一億七百万圓ト云フ手形ガ、將來見込ガナイカト云ヘバ、是ニハ不十分ナリト雖モ、不動産トカ或ハ株券トカ云フガ如キ擔保ノ附イテ居ルモノモアリマス、又中ニハ裏書保證ヲ致シテ居ルト云フガ如キモノモアルノデアリマ

ス、假スニ時日ヲ以テスレバ、其擔保品ヲ處置シ、又ハ經濟界ノ立直ル時ニ當ツテ、營業上ノ努力ヲ致ス、其結果トシテ戻入レガ出來ル、ソレデ假スニ時日ヲ與ヘ、サウシテ此一億七百万圓ノ金ノ回収ヲ付ケルヤウニスルト同時ニ、是ニ割引ヲシテ居ル所ノ普通銀行ノ金融ノ疏通ヲ付ケテヤラウト、又付ケテヤラナケレバ仕方ガナイト云フノガ、即チ處理法案デアリマス、是ハ國ハ一億圓マデハ損ヲ覺悟シテ居リマスルカラ、其以上ノ損ヲ國ガスルト云フ譯ニ行カナイ、國ガ損ヲセズニ何トカ疏通ノ途ヲ考ヘルト云フコトニシマスルト、其震災手形ト云フモノヲ、茲デ本年九月限り打切ッテシマッテ、其手形ヲ振出シテ居ル人、又其裏書ヲシテ居ルト云フヤウナ人ノ資產ノ狀況ヲ斟酌シテ、十年間ノ賦償還ニサセル、即チ年賦償還ノ借用證文ニ震災手形ヲ換ヘルト云フ、年賦貸金ノ約束ガ調ヒマシタラバ、ソレヘ公債ヲ貸シテヤル、公債ヲ貸シテヤルト云フコトニ依ッテ、其公債デ金融ガ付イテ行クノデアリマスカラ、銀行ハ金融上ノ便利ヲ得ルノデアリマス、而シテ年賦ノ貸付ノ利子トシテ拂フ金ヲ、日本銀行ニ納メル、其納メルモノガ其公債ノ利子ニナル、ソレカラ年賦トシテ普通銀行ガ回收スル金ヲ、日本銀行ヘ納メル、日本銀行ハ之ヲ政府ニ納メテ、政府ハ減債基金ノ方ヘ之ヲ入レル、斯クシテ公債ノ利子モ其元金ノ償還モ、之ニ依ッテ償却サレテ、結局國ニ損ヲ與フルコトナクシテ、又金融界ノ梗塞ヲ來サズシテ、サウシテ此震災手形ト云フコトノ問題ガ片付ク、是ガ處理法案デアルノデアリマス、此事ハ是マデ衆議院ニ於テモ、貴族院ニ於テモ、私ガ屢々繰返シタ事柄デアリマス、今一億七百万圓ノコトハ何モ言ハヌト仰セラレマスルガ、言ハヌコドコロデハナイ、同ジ事ヲ屢々繰返シタコトハ、速記録ヲ御覽下サルレバ明カニナルト思ヒマス、之ヲ説明シテ行キマスル間ニ、所謂補償法案ノ中ノ、國ガ補償シナケレバナラスト云フ金ヲ、或時ハ六千万圓ト云ヒ、或時ハ八千万圓ト云フ如クニ屢々變ツテ居ル、斯ウ仰セラレタノデアリマスガ、是モ速記録ヲ見マセヌト、私ハ間違ナシト斷言ガ出來ヌカモ知レマセヌケレドモ、是ハ私ハ時ニ出任セノ事ヲ言ツタトハ、少シモ思ツテ居リマセヌ、昨日衆議院デ、今高橋君ノ言ハレタヤウナ言葉ヲ以テ御質疑ヲ受ケマシテ、

答ヲシタノデアリマスガ、是ハ貴族院ニ於キマシテモ、臺灣銀行並ニ朝鮮銀行等ノ整理ヲ定メマスル時ニ、此銀行等ノ持ツテ居リマスル震災手形ノ中デ、結局損失ニナラウト云フ見込ヲ附ケタモノハ有ルノデアリマス、併ナガラ國ノ補償方法ハ未ダ定マッテ居ラヌ時デアリマスカラ、之ヲ損失トシテ處置スル譯ニ參リマセヌカラ、唯見込ニ過ギマセヌ、其見込ノモノト、普通銀行ノ割引シテ居リマスル手形ノ中ニ於テ、只今見込ヲ付ケタ所ニ依レバ、其前段ニ申上グタモノト合セテ、約八千万圓位ニナルデアラウ、是ハ見込デアリマス、或ハ是ヨリ殖エルコトモゴザリマセウ、或ハ減ルコトモアルカモ知レマヌ、見込ヲ申上ゲルヨリ外ニ、其時ガ來テ處置スル場合デナケレバ、申上ゲルコトノ出來ルモノデゴザイマセヌ、斯ウ云フコトノ説明ヲ致シテ置キマシタ、屢々變ルト仰セラレマスガ、是ハ終始一ノ如シデス、ソレカラ説明中ニシタ、屢々變ルト仰セラレマスガ、是ハ言ヘナイト云ツテ、ハッキリ初カラ言ヘバ安心シ了解スルノニ、ソレヲ段トニムツカシキコト、要求セラルル人ノ満足ヲ與ヘルコトノ出來マセヌコトハ、其手形ヲ振出シタ人ノ名前、其手形ヲ持ツテ居ル所ノ銀行ノ名前、其手形ヲ持ツテ居ル分量ヲ、ドノ銀行ガ是ダケノモノヲ持ツテ居ルト云フガ如キコトヲ申上ゲル譯ニハ參リマセヌ、此事ガ初カラ御満足ヲ得ナイ點デアリマス、是ハドウモ財界ノ安定ヲ期スル爲ニ出シタ法律ノ其説明中ニ、事ガ定マッテシマッタ後ナラバ差支ナイ點モ起リマスルガ、通ルヤラ通ラヌヤラ知レスルガ、言ハヌコドコロデハナイ、同ジ事ヲ屢々繰返シタコトハ、速記録ヲ御託ツテ居ルト云フガ如キコトヲ明カニ致シマスルコトハ、先刻御非難ニニアリマシタ御言葉ト同ジコトデ、財界ヲ攪亂スルコトニナリマセウ、是ハドウモ遺憾千萬デハゴザイマスケレドモ、ドウモ只今ノ所ニ於テハ、是ハ致シ方ガナシタ御言葉ト同ジコトデ、財界ヲ攪亂スルコトニナリマセウ、是ハドウモト云フ時代ニ、何某ガ此手形ヲ振出シテ居ル、此手形ハドレダケドノ銀行ガ持ツテ居ルト云フガ如キコトヲ明カニ致シマスルコトハ、先刻御非難ニニアリマシタ御言葉ト同ジコトデ、財界ヲ攪亂スルコトニナリマセウ、是ハドウモト云フガ如キコトハアリマセヌ、衆議院デハ、今申上グタヤウナ手形ノ振出人、ソレカラ其手形ヲ持ツテ居ル銀行ヲ示セト云フ點ニ對シテ、ソレハ絶對

ニドウモ應ズル譯ニ行キニクイ、何等カノ方法ニ依ッテ、是ハ斯ウ云フ次第ノモノデアルト、御了解ノ行クヤウナ方法ハ努メテ取ツテ居リマスト云フコントハ、同院ニ於テ私ハ言ツテ居ルコトデアル、殊ニ衆議院デバ、臺灣銀行ガナンボ持ツテ居ルカ、朝鮮銀行ガナンボ持ツテ居ルカ、此銀行ノ持ツテ居ル分量ヲ示サナケレバ、風呂敷包ヲ持ツテ來テ是デ協贊シロト言ツテ、中味ガ何ガ這入ツテ居ルカ分ラヌト云フ如キコトデハ、協贊ノ仕様ガ無イヂヤナイカ、斯ウ云フ迄ノ御詰問ヲ受ケマシタケレドモ、是ハ今申上ゲルヤウナ次第デ申セナイ、而シテ本院ノ特別委員會ニ於テノ御註文ハ、銀行ノ名前ヲ言ヘナイト云フコトハ無理カラヌコトデアルカラ、ソレハ問ハヌ、特殊銀行ト普通銀行トノ持ツテ居ル其割合ヲ示スコトハ差支ナイヂヤナイカ、斯ウ云フ御話デアリマシタカラ、其特殊銀行ト云ヘバ、ドノ銀行ドノ銀行ト云ウテ、其人ノ判断ニ依テハ、色ニ起リマセウガ、特殊銀行ハ御承知ノ通り幾ツモアルノデアリマス、其方ノ分量ト、普通銀行モ亦澤山アルノデアル、大體銀行ノ數ハ五十ーアルト云フコトダケハ申上ゲテアル、手形ノ數ヲ三千何百アルト云フコトト、保證人等ヲ加ヘレバ約一万人ノ關係ニナルト云フ、斯ウ云フガ如キコトハ、最初カラ申上ゲテ居ル、其中ヲドノ銀行ガドレダケ持ツテ居ルト云フコトト、其何枚アルト云フ手形ノ名前ヲ一々言ヘト云フ、其求メニ應ジナイト云フダケデアリマス、ソレヲ衆議院ニ於テハ、銀行ノ名ヲ指シテ明カニシロ、斯ウ仰セラレルカラ、是ハ御断里斯ル、貴族院ノ方デハ、特殊銀行ト普通銀行トノ其分量ヲ言フコトハ差支ナイヂヤナイカ、ソレハ差支ナイト思ツテ、ソレハ申シタコトガアリマス、小出シニ出シタト云フ譯デハナイ、衆議院ニ於テハ、斯様ナ質問ハ無カッタ、衆議院ハ、臺灣銀行ハ何ボ持ツテ居ル、朝鮮銀行ハ幾ラ持ツテ居ル、何銀行ハ幾ラ持ツテ居ルト云フコトヲ知ラセヨト云フ註文デアッタ、註文ノ仕方ガ違フノデアリマス、固ヨリ兩院ニ議決ヲ願フノデアリマスカラ、最初ノ議院ニ於テ質問應答ヲ致シマシタ其結果、其案ガ次ノ第二ノ議院ニ移ルノデアリマス、貴族院ノ方デ先キニ御決議ニナレバ、其御決議ニ至ルマデノ間ノ質問應答ハ、速記録トシテ向ウヘ廻ルノデア

リマス、向ウニハ其速記録ニ無イ所ノモノヲ質問スルト云フコトガ、ドウシテモ起ルノハ是ハ順序デアリマス、ソレ故ニ兩院ノ方デ同ジ言葉ヲ使フト云フコトハ、是ハドウモ速記録ヲ讀ムト云フコトヨリ外ニハ、第二院ノ方デハ、仕様ガナイト云フコトニナリマス、斯ウ云フ風ノ精神ノモノヂヤナイト思フナイト私ハ考ヘテ居ル、ソレカラ結局鈴木商店ヲ救フガ如クニ相成ルヤウニ言ウタヂヤナイカト云フ御話デアリマス、即チ個人ノ商店或ハ法人ノ商店ニ致シマシテモ、其者ノ持ツテ居リマスル手形ノ内容、之ヲ申スト云フコトハ、是ハ其當業者トシテ非常ニ迷惑デアリマス、又本案ニ對シテ、ソレヲ言ハナケレバナラヌト云フ關係モ無イト考ヘマス、縱シ有リトシテモ、個人々々ノ手形ノ内容ヲ申上ゲルト云フコトニ參ラヌコトハ、一商店ニシマシテモ、法人ノ商店ニ致シマシテモ、取引關係ハ可ナリ廣クシテ居リマス、サウスルト云フト、其内容ヲ言ツタガ爲ニ非常ニ影響ヲ蒙ルト云フコトニ相成ルコトハ、自然ノ勢デアリマスカラ、左様ノコトヲ言フ筈ハナイノデアリマス、人々ノ推察ニ依ツテ色ニナルト云フコトハ、是ハドウモ已ムヲ得ヌコトデアリマスケレドモ、當局者ヨリシテ、此商店ガ斯様デアルト云フ風ニ聞エルヤウニ努力ト云フガ如キコトヲ致シタコトガ無イノミナラズ、是ハ避ケルコトニ最モ努メテ來タノデアリマス、次ニ私ガ東京渡邊銀行ノコトヲ衆議院デ話ヲシタ、ソレガ爲ニ支拂停止ヲスルニ及バヌヤウナモノマデ停止ヲシナケレバナラヌヤウニナッタ、不用意千萬ナコトデアルト云フ御非難ヲ強ク御述ベニナリマシタ、是ハ衆議院ニ於テモ詳シク申シタコトデアリマスルカラ、今茲ニ繰返ス必要ハナイヤウデアリマスケレドモ、御尋ガアル以上ハ、一通りハ申サナケレバナリマセヌ、去ル十四日午後一時四十分カラ五十分ノ間デアリマス、私ガ衆議院ノ特別委員會ニ於テ質問ニ應ジテ答ヘテ居リマスル際ニ、大藏省事務次官ガ參リマシテ、サウシテ書面ヲ以テ東京渡邊銀行ノ支拂停止ノコトヲ報告シタノデアリマス、其委員會ヲ終ッテ、更ニ私ノ控室ニ於テ事務次官ニ

會ヒマシテ、其顛末ヲ聽イタノデアリマス、其顛末ニ依リマスレバ、渡邊銀行ノ常務取締役ガ大藏省へ出頭イタシテ、田次官並ニ原事務官ノ前ニ於テ今日マデ色ム御心配御盡力ヲ蒙ッタノデアリマスルガ、ドウモ今日ハ交換尻ノ始末モ付キ兼ネマスルシ、到底一旦中止ヲ致シテ、サウシテ此自分ノ持ツテ居ル所ノ不動産ヲ資金化スルヤウニ致シテ、更ニ預金者ニ迷惑ヲ掛ケヌヤウナ方法ヲ取ルノ外ハ、致シ方ガ無イノデアリマス、斯ウ申シテ、從來ノ禮ヲ述ベテ、其始末ヲ言ウタノデアリマス、茲ニ於テ事務次官ハ、其支拂停止ノ發表ハ何時ナサルカト、斯ウ聽イタラバ、最早事茲ニ至リマシタ以上ハ、致シ方ガゴザリマセヌカラ、本日中ニ發表イタシマス、斯ウ答ヘタ、茲ニ於テ其事ヲ書イテ私ノ所ヘ持ツテ來タノデアリマス、之ガ發端デアリマス、私ガ又議會ニ於テ之ヲ述ベマシタノハ、一議員ノ質問ニ應ジテ答ヲ致シタ、其質問ノ要旨ハ、震災手形ニ依ツテ銀行ガ救濟サレタトシテ、後日銀行ガ破綻ヲ致シタ時ニハ、復タ斯ウ云フヤウナ震災手形ニ對スル貸付ヲスルト云フヤウナ方法ヲ取ルノカ、是ガ質問ノ要點デアッタ、私ハ銀行ガ破綻ヲ來シタ時ハ、何レカ此後援ノ銀行ヲ見付ケルニアラザレバ、其破綻ヲシタ者へ直接ニ救濟ヲ施スト云フコトハ出來ニクイ、出來ルモノヂヤアリマセヌ、而モ其後援ニナル銀行ヲ見付ケタトシテモ、其破綻ヲ致シタ所ノモノヲ整理シテ、サウシテ其後ヲ其後援ノ銀行ニ引繼グトカ、又ハ後援ノ者ガ資金ヲ供給スルトカ云フヤウナ趣旨デナイト、破綻ヲ來シタ者へ向ツテ救濟ヲ直接ニ行フト云フコトハ、出來ニクイ事柄デアルト、斯ウ説明ヲ致シテ、サウシテ本日正午頃渡邊銀行ガ破綻ヲ致シマシタ、此銀行ハ預金モ是ムアルノデアッテ、遺憾千萬ニ考ヘル、之ニ對シテハ相當救助ノ方法ヲ講ジナケレバナラヌト考ヘマスガ、今ノ救濟ノ方法トシテハ、是ムノモノデアリマシテ云々ト、斯ウ説明イタシタノデアリマス、即チ私ガ申シタコトハ、先キニ申シタ如ク事務次官ヨリ報告ヲ得テ、即チ其發表ハ本日スル、斯ウ云フコトヲ確メ、ソレカラ私ガ議會……衆議院ノ委員會ニ於テ述ベマシタ時ハ、當日午後三時何十分デアリマシタカ、丁度四時ノ本日ハ是ニテ打切ルト云フコトヲ宣告スル其前ノ時間デアリマスカラ、三時四十

分デゴザイタシタカ五十分デゴザイマシタカ、其時計ヲ見テ覺エテハ居リマセヌガ、銀行ガ營業時間ヲ經過シテ居ツタコトハ事實デアリマス、即チ此時ナラバデス、之ニ依ツテ以テ當日ノ取付が始マルト云フガ如キコトガ生ズルコトハナイト考ヘタノデアリマス、而シテ其時ニ私ガ此事ヲ言ウタト云フノハ、私ニハ考ガアルノデアリマス、大凡斯ウ云フ事柄ハ、噂ニ噂ヲ生ジテ行クト云フコトガ一番惡イノデアル、ドウセ知ラセナケレバナラヌ事柄ナラバ、早ク知ラセ、ソレト同時ニ他ニ傳播シナイヤウニシテ、一般ニ安定ヲサセルコトガ必要デアルト、私ノ經驗ニ依ツテ斯ク考ヘテ居ル、ソレ政ニ斯ク申シテ、ソレト同時ニ此委員會ガ終ルヤ否ヤ、日本銀行ノ當局者ヲ集メマシテ、此事ガ他ノ財界ニ影響ヲシナイヤウニ、又渡邊銀行ノ善後策等ニ付テモ、好コトガ必要デアルト、私ノ經驗ニ依ツテ斯ク考ヘテ居ル、ソレ政ニ斯ク申シテ、ソレト同時ニ此委員會ガ終ルヤ否ヤ、日本銀行ノ當局者ヲ集メマシテ、斯ク致シマシタカラトテ、別ニ他ノ銀行ニ取付ガ始マルトカ何トカ云フコトハ、意ノ盡セルダケハ好意ヲ盡サナケレバナラヌト云フ意味ノ、私ハ話ヲシタ、斯生ジテ居ラヌノデアリマス、私ノ發表シタコトガ早過ギル、ソレガ爲ニ困難ヲ生ジタ、斯ウ云フ事モ見様ニ依ツテハ起リマセウガ、私ノ考ハ今申シタ通り、シテモ、其破綻ヲ致シタ所ノモノヲ整理シテ、サウシテ其後ヲ其後援ノ銀行ドウモ彌縫ノ出來ヌ事柄ヲ其儘ニシテ置イテ、噂ニ噂ヲ生ジテ、人心ニ不安ヲ與ヘテ後、之ヲ鎮壓スルト云フガ如キコトハ、容易ニ出來ルモノデハナイ、安定セシムルト云フコトガ一番宜イト、私ハ考ヘタ、即チ監督官廳ガ、被監督ノ重役即チ代表者ヨリ斯ノ如ク申出デテ來タ所ノモノヲ、私ガ之ヲ言ウタント云フコトニ對シテ、先刻高橋君ノ言ハルル如ク、斯様ナ事ヲ言ウタラバ直・アッタ、早過ギタト云フコトノ證據ダ、死ヌニ及バヌモノヲ殺スコトニナツタ、萬ニ考ヘマス、ソレカラ又御述ベニナリマシタ中ニ、日本新聞ニ於テ何某何某ノ名前ヲ以テ突然斯様ナ事ニナツタ云フ廣告ガ出テ居ルノデ、是ガ輕躁デスウ仰セラレタノデアリマスガ、私ハ其新聞ヲ見テ居リマセヌ、ソレ故ニ其新聞ニ對シテノ事ハ申兼ネマスガ、同銀行ハ其翌日ニ於テ支拂停止ヲスルト同時ニ、一般ノ者ニ對シテ、各新聞ニ廣告ヲシテ居ル、ソレハ預金者各位ニ

謹告スト云フコトデアリマスガ、斯ウ云フ風ノ前提ヲ置イテ居ル、「數日來當銀行ハ經濟ニ關スル通信又ハ新聞紙ノ株式欄等ニ於テ兎角ノ批評ヲ受ケツツアリタリ、從テ「コール」資金ノ吸收思ハシカラズ、稍緩漫ナル取付狀態ニ遭ヒシガ、昨日當行ノ交換屁決済ノ云々ト斯ウ委曲ヲ盡シテ、支拂停止ヲ致スト云フ顛末ヲ述べテ居リマス、今日ノ廣告ニモアリマスルガ、今日ハ此廣告ガ……私ノ聞ク所ニ依レバ、此廣告ハ唯單ニ自分ノ手元ノ事ダケ言ッテ、預金者ニ對スル誠意ヲ披瀝シテ居ラヌト云フ非難ガアリマシタノデ、今日ハ又預金者ニ告グト云フ廣告ヲ致シタト云フコトデアリマス、ソレカラ速記録ノ取消ヲヒドク御咎メニナッタ、今高橋君ノ述ベラレマシタ言葉ヲ忘レマシタガ、兎ニ角、頭ガフラ／＼シテ居シテ不用意ナコトヲ言ッタト、斯ウ云フ意味デアリマシタ、私モ頭ノ非常ニ良イモノト自慢スル程ノ頭デモアリマセヌガ、アノ當時ノ速記録ノ前後ヲ御覽下サイマシタナラバ、當時ノ委員會ノ混亂狀態ガ能ク分ルノデアリマス、併ナガラ如何ニ混亂シテ居タニシタ所ガ、國民ニ關係ナイト云フガ如キ速記ガ存シテ居ルト云フコトハ、是ハ私ノ不用意ノ言ヒ分デアッタト見ルノ外ハナイノデアリマス、貴衆兩院ニ於テ議セラレル事柄ガ、國民ニ關係ガ無イナドト云フコトハ、何トシテモ有ル譯デハナイ、併ナガラ其前後ノ文章ヲズット御覽下サレマシタラバ、私ノ精神竝ニ其國民ニ關係ガ無イト云フガ如キ言葉ヲ使ッタト云フコトハ、或議員ガ國民ニ對シテドウスルト、斯ウ云フ言葉ガ發セラレテ、國民ニハ關係ガ無イヂヤナイカ、斯ウ受ケタ、チヨット私ガ釣リ込マレテ居タ、ソレハ頭ガフラツイテ居タト御認メニナレバ、是ハ致シ方ガアリマセヌ、サウ云フ不穩當ノ文字ヲ殘ス譯ニハ行キマセヌカラ、率直ニ取消ヲシタノデアリマス、併シ之ガ爲ニ平然トシテ職務ニ居ルハ怪シカラス、斯ウ仰セラレマシタガ、私ハ當然ノ職責ヲ盡シ來タト思ッテ居リマス、ソレハアナタ方ノ御覽ノ通り、早ク言ウタガ惡イト云フガ如キコトハ、見様ニ依ッテアルカモ知レマセヌ、私ハ今申上ゲル通ノ考ヲ以テ、早ク發表シテ早ク安定サセル、尊ニ尊ノ生レルヤウナコトヲサセナイ、斯ウ云フ考ヲ以テシタノデアリマスガ、高橋君ノ御覽ノ立場

カラ見レバ、モット後ニシテ置イタラ宜カッタデヤナイカト云フ如キコトモゴザイマセウ、ソレハ私ハ兎ヤ角申スノデハアリマセヌ、自分ノ所信ハ所信トシテ、斯様ニ思ッテ居リマス、ソレカラ最後ニ、本案ハ潔ク撤回シタ方ガ宜イ、撤回スル意思ハナイカ、是ガ御質問ノ一番ノ主眼デアッタト存ジマス、是ハ私ガ最初ニ申上ゲマシタ如ク、今日ノ場合ニ於テ、斯ク致シテ此震災手形ヲ片付ケルコトハ極メテ必要デアル、是ハ真ノ經濟問題デアルニ拘ラズ、近時之ヲ政治問題化シテ來タコトヲ、私ハ非常ニ遺憾ニ思フノデアリマス、若シ片付カヌダケノコトデ濟ミマセウガ、今日斯ウ云フ政治問題化シ來タモノヲ、之ヲ撤回シテ其儘ニシテ置ク、或ハ一年延バ、斯ウ云フガ如キコトニ相成リマシタナラバ、此財界ハ私ハ決シテ安心シテ參ル譯ニハ行カヌト思ウテ居リマス、是モ人ノ見様デアラウト存ジマスガ、是ハ餘程能ク御考慮ヲ願ハナクチヤナラヌ、私ノヤリ様ガイカヌト云フ今ノ攻撃ノコトナラバ、私ハ進退ハ別ニ考ヘテ、如何様ニシテモ宜シウゴザイマスガ、此今日ノ財界其モノハ、是ハドウシテモ改善スベキモノハ改善シ、整理スベキモノハ整理シテ、片付ケナケレバナラヌ時ガ來テ居ルト思ヒマス、之ヲ今議論ガ世間ニアルカバ、ソレコソ此案ヲ提出シタ所ノ目的ニ背クノミナラズ、非常ナコトニ、私ハナルト考ヘマス、ソレ考ヘマス、ソレ故ニ政府ト致シマシタラバト云フ考ハ毛頭持タザルノミナラズ、能ク御考慮ヲ願ヒマシテ、此財界ノ安定イタシマスルヤウニ御配慮ヲ、切ニ私ハ希望スル次第デアリマス、本來、今申上ゲマシタ如ク、是ハ經濟的問題デアリマス、是ガ政治問題ノヤウニ相成リ、又今高橋君ノ如キ彈劾的ノ御質問ハ、私ハ彈劾セラレルコトハチットモ構ヒマセヌガ、之ガ爲ニ是ガ長引イテ……長引クト云ツテモ最早茲ニ至テ居ルモノヲ、俄ニ切詰メテト云フ譯ニモ參リマセヌガ、兎ニ角此財界ノ真相ヲ、種々ノ途ヲ以テ御糾シ下サルコトガ出來ヤウト存ジマス、何卒此點ニ對シテハ、深ク御考慮ヲ下サイマシテ、本案ノ通過スルコトヲ切ニ希望

致シマス、併セテ此撤回ノ意思ノナイト云フコトヲ、明カニ申上グテ置キマス

ス

○男爵阪谷芳郎君 本員ハ震災手形補償法案外一件ノ特別委員ノ一人デアリマスガ、只今緊急質問アリトシテ高橋君ヨリ御述ベニナリマシタコトハ、是ハ緊急ト見ラレル

云ノコトニ付テ司法大臣ノ御答ヘニナリマシタ中デ、告發云

ト思フ、併ナガラ他ノ言論、殊ニ只今大藏大臣ヨリ御述ベニナリマシタ事柄

ト云フモノハ、震災手形補償法案特別委員ノ、今、權限ニ屬シテ居ルト思フ、

デ、是ハ後ノ例ニナッテハナリマセヌカラ、モウ只今濟ンダコトヲ、敢テ本員ハ追究致シマセヌケレドモ、今後ニ於キマシテ議事進行上、此會期切迫ノ

際、甚ダ同ジコトヲ二度モ三度モ聽クト云フコトハ、御同様ニ迷惑ナコトデアリマス、特別委員が今頻ニ審査ヲシテ居ルノデアリマスカラ、其結果ヲ御

待チ下サルノガ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、本議場デモ問題ガ起り、特別委員會デモ問題ガ起ルト云フコトハ、議事ノ進行上ニ於テ宜シク

ナイト考ヘマス、議事ノ進行上ニ付テ議長ヨリ御注意ヲ願ツテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 阪谷男爵ノ只今ノ御申述ノコトハ、既ニ、重ネテ高橋君カラ質疑ガ出マシタラバ、高橋君ニ議長ヨリ御相談ヲ致シタイト思ッ

テ居ツタ際デゴザイマス、決シテ高橋琢也君ノ大藏大臣ニ對スル質疑ヲ御止メヲ願フノデモ何デモナインデゴザイマス、適當ノ時機ニ御質疑ヲ願ヒタルベク議事ノ進行ヲ妨げナイコトニ、諸君ノ御注意ヲ請ヒタイト議長ハ思テ居ル際デゴザイマス、諸君ニ於テモ議長ノ述ベマシタコトヲ何卒御了承ニ相成ルコトヲ望ミマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第二、國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案
右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和二年三月十五日

貴族院議長公爵徳川家達殿

衆議院議長柏谷義三

國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案

復興局廳舍新營費又ハ帝都復興事業費ヲ以テ建築又ハ購入シタル國有財產ニシテ不用ニ歸シタルモノノ賣拂代金ハ帝都復興ニ要スル經費ニ充用スル爲國有財產整理資金特別會計法第二條ノ規定ニ拘ラズ之ヲ一般ノ歲入ニ組入ルルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ一般ノ歲入ニ組入ルルコトヲ得ル金額ハ千九百万圓ヲユルコトヲ得ズ

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣片國直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片國直溫君) 只今議題トナリマシタ國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案ニ付テ、御説明ヲ致シマス、帝都復興事業費ハ、昭和二年度豫算計畫ニ於キマシテ、昭和三年度及四年度ニ亘リ、二千三百万ヲ追加スルコト致シタノデアリマスガ、其財源ノ大部分ハ、復興局廳舍新營費又ハ帝都復興事業費ヲ以テ建築又ハ購入シタル、國有財產及機械器具ノ賣却代金ヲ以テ充用スルコトニ計畫イタシマシタ、而シテ此財源中、國有財產ノ處分ニ依ル收入金ハ約千九百万圓デアリマスガ、元來現行國有財產整理資金特別會計法ノ規定ニ依リマスレバ、國有財產ノ整理處分ニ依ル收入ハ、一應同會計ニ收納シ、其使途ハ營繕費又ハ國有財產ノ整理ニ要スル經費ニ限定セラレテ居リマスルガ故ニ、本件ニ關シ同會計法ニ對シ特例ヲ設ケテ、該

收入金ヲ帝都復興事業費ニ充テ得ルコトトシ、同時ニ之ヲ直チニ一般會計ニ繰入レ得ルコトト致スノ必要ガアリマス、是レ本案ヲ提出イタシマシタ趣旨

デゴザイマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ望ミマス
○議長(公爵徳川家達君) 本案ノ特別委員ノ氏名ヲ、書記官ヲシテ朗讀イタサセマス

〔瀬古書記官朗讀〕

國有財產整理資金特別會計法ノ特例ニ關スル法律案特別委員

伯爵二荒芳徳君 伊澤多喜男君 男爵近藤滋彌君
藤田四郎君 内藤久寛君 村野常右衛門君
齋藤喜十郎君 奥田亀造君 松本勝太郎君

○議長(公爵徳川家達君) 日程第三、國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

右政府提出案本院ニ於テ可決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也
昭和二年三月十五日

國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案

貴族院議長公爵徳川家達殿 衆議院議長柏谷義三
國產獎勵ノ爲ノ會計法ノ特例ニ關スル法律案
國產獎勵ノ爲必要アル場合ニ於テハ政府ハ當分ノ内勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ルル物品ニ付國產品タルコトヲ指定シ又ハ其ノ請負ヲ爲ナシムル工事若ハ製造ノ材料ノ全部若ハ一部ニ付國產品ヲ使用スヘキコトヲ指定シテ契約ヲ爲スコトヲ得

附 則

本法ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

〔國務大臣片岡直温君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直温君) 只今議題トナリマシタ法律案ニ付テ、説明ヲ致シマス、本邦經濟ノ現状ニ鑑ミ、我ガ國際貸借ノ改善ヲ圖ルコトノ最モ緊要デ

アルコトハ、言ヲ俟タナイ所デアリマス、而シテ其方策ハ頗ル多岐ニ亘ルモノガアリマスルガ、要ハ對外貿易關係ニ於テ、輸入ヲ抑制シ輸出ヲ増進スルト

共ニ、貿易外收支ヲ調節シテ、之ガ均衡ヲ支持スルノ方法ヲ講ズルニ在リト思フノデアリマス、政府ニ於テモ、之ガ爲ニ銳意諸般ノ施設ヲ行ヒ來ッタノデアリマス、而シテ右施設ノ一ト致シマシテ、政府ハ曩ニ各省ノ主任官ヲ以テ組織スル各省海外拂節約協議會ヲ設ケ、政府ニ於ケル外國品ノ購入其他ノ關係ヨリ、海外拂ヲ爲スモノ頗ル多額ナルニ鑑ミ、國產品ノ使用其他ノ方法ニ依リ、極力之ヲ節約スルノ手段ヲ講ジ、我カ國際貸借ノ改善ニ資セントヲ期シテ居ルノデアリマス、併ナガラ現行會計法ノ下ニ於テハ、國產品ノ購入使用等ヲ獎勵すべき特殊ノ制度ヲ缺イテ居リマス其爲ニ、右施設ノ實效ヲ舉ゲル上ニ於テ、未ダ十分ナルヲ得ナイ點ガアリマス、然ルニ政府ハ、別途商工大臣ガ國產振興委員會ニ對シ官廳用品ノ國產品需要ニ關スル方策ニ付キ諮詢シタルモノニ對スル同委員會ノ答申ヲ、之ガ目的ヲ遂行スル爲ニ有效ナル一方策ト認メマシタカラ、之ヲ採擇シ、會計法ノ特例ヲ設ケテ、官廳用品ノ購入等ニ付キ國產品タルコトヲ指定シテ契約ヲ爲シ得ルノ途ヲ圖ルコトトシ、本案ヲ提出イタシマシタ次第デアリマス、而シテ本制度ノ實施ニ當リマシテハ、各官廳ノ用品ニ付キ、廣ク外國品ヲ需要スルモノノ種類ヲ調査シ、其中、國產品ヲ以テ代ヘルコトヲ得ル範圍ヲ研究シ、且ツ國產需要ニ關スル適切有效ナル方法ヲ設ケ、以テ所期ノ目的ヲ達スルニ遺憾ナキヲ期シタイト考ヘテ居ルノデアリマス、何卒御審議ノ上御協賛ヲ與ヘラレムコトヲ希望イタシマス

○森田福市君 簡單デアリマスカラ本席カラチヨット御尋不致シタイト思ヒマス、此國產獎勵ノ爲ニ、所謂舶來品ヲ買ツテ居ツタモノヲ、内地製品デ以テ

工事若クハ製造ノ材料ニ使用スルト云フコトハ、誠ニ宜シイコト考へマスガ、内地ノ製產品ノ中デ、其中ノドコノ製造會社トカ、或ハドコソコノ商店ノ發賣ニ係ルト云フヤウナ内容マデ御指定ニナル御考デアリマセウカ、單ニ其指定ハ内國產品ト云フコトニ限定セラレルモノデアルカ、ト云フコトヲ伺ッテ見タイノデアリマス、何故ナラバ、一ツノ會社ノ製品等ヲ御指定ニナルト、從來ト雖モ、其會社ガ暴利ヲ貪ッテ居ルノデアリマス、所謂一二ノ會社トカ、一二ノ商店ヲ助ケルヤウナ結果ニ陥リハセヌカト云フコトヲ憂フルモノデアリマス、ソレガ只今ノ、單ニ内國產、内地ノ製品ニ限ッテ、所謂物品購入ノ適用、若クハ工事等ニ使用ナサルニ於テ、内地產ダケト云フ限定ナラバ宜シウゴザイマスガ、ソレ以上ニ立入ッテ、ドコノノ會社ノ製品、何々會社ノ販賣品ト云フ所ニ迄及ボサレル御考デアリマセウカ、ドウデアリマセウカ、御尋ネスルノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 御答ヘ申上グマス、是ハ商工大臣ノ下ニ國產振興委員會ト云フモノガ設ケラレテアリマス、是ニ諮詢ヲ致シマシテ、其御答申ニ基イテ決メルノデアリマス
○森田福市君 一向分ラヌノデアリマス、モウ少シ具體的ニ御答辯ヲ願ヒマス、只今ノ御答辯デハ、國產獎勵ノ委員會ガアルカドウカ、私ハソレモ知ラヌノデアリマス、今ノ御答辯デハ……御尋ネシタノハ内國製品ト御指定ニナルダケデアリマスカ、ヨリ以上詳細ニ御指定ニナリマスカ、御尋ネシタノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 國產振興委員會ハ、内地ニ產出スルモノト外國ノ品物トヲ對照シテ、其優劣等ニ鑑ミ、是ハ外國品ヲ用キナクッテモ、内國品デ事ハ十分デアル、斯ウ云フ風ニ調査イタシタ上ニ、是ハ内國品ヲ御使ヒナサルガ宜シト云フ答申ヲスル、其答申ニ基イテ之ヲ買入レル手續ヲ此法案ニ依ツテ定メヤウ、斯ウ云フノデアリマス

○森田福市君 大藏大臣ノ御答辯デハ、ドウモ分ラヌノデアリマス、「國產獎勵ノ爲必要アル場合ニ於テハ政府ハ當分ノ内勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ買入ルル物品ニ付國產品タルコトヲ指定シ又ハ其ノ請負ヲ爲サシムル工事若ハ製造ノ材料ノ全部若ハ一部ニ付國產品ヲ使用スヘキコトヲ指定シテ契約ヲ爲スコトヲ得」是ガ條文ノ全部ニ見エルノデアリマス、此意味ニ於テ、所謂只今ノ御指定ニナルノハ、單ニ國產品トシテ、色ムノ機械ナラ機械ヲ購入ナサル場合ニ、單ニ國產品トナサルノデアリマスカ、何々製造會社ノ品ト御指定ニナルノデアリマスカ、御尋ネシタノデアリマス、明瞭ニ御答辯ヲ願ヒマス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 私ガ先刻申上グタ所デ、私ハ盡シテ居ル積リ、デアリマス、今、日本ニ色ムナ品物ガアル、併ナガラソレガ外國品ト優劣ヲ較ベテ見テ、日本ノ物ガ同等デアル、或ハ優ッテ居ル、是ハ外國ノ物ヲ使ハナクッテモ之ヲ使ッタラ宜イデヤナイカ、斯ウ云フ如キコトヲ國產獎勵ノ委員會デ調査スルノデアリマス、其調查ノ結果ヲ報告シマスルカラ、其報告ニ基イテ此品ヲ用キタラ宜カラウト云フコトヲ決メテ入札スルノデアリマス

○森田福市君 相變ラズ私ニハ分リマセヌガ、分ラヌ儘デ質問ヲ打切リマスシウゴザイマスカ

○議長(公爵德川家達君) 宜シウゴザイマス

○玉利喜造君 私ハチヨット御尋ネ致シタイコトガアルノデアリマスガ、國產委員ト云フモノハ、商工省ニ委員ガ設ケラレテ居ルヤウデスガ、大藏大臣ノ御説明ニ依リマスルト、何ダカ工商ギリノ範圍デ、農產品ノ委員等ハ含ンデ採用セラレテ居ラヌノデアリマスカ、今後ノモノハドウ云フ御見込デアリマスカ、チヨット伺ヒマス、大分、農產品デアッテ外國產ノモノガ、外國カラ這入ツテ參リマスガ、ソレヲ伺ヒタイノデアリマス

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 商工省ノ下ニアリマスル國產振興委員會ハ、各方

面ニ於ケル知識ヲ有セラル方ニ嘱託サレテ居ルノデアリマス、今御尋ノ農產品云々ノコトデゴザイマスガ、農產品ハ大概内國品デ、外國ノ農產品ヲ使ツテ居ルモノモ多少アルカモ知レマセヌガ、主ナルモノハ工業品デアリマス、併ナガラ農產品ト雖モ、此國產委員會ノ委員ノ中ニハ、其方面ニ對スル知識ヲ有セラル方ニガ委員ニナラレテ居ルノデアリマス、ソレト同時ニ民間ニ於テモ亦、國產振興會ナルモノハ、大阪ニモ東京ニモ出來テ居リマス、是等トノ連絡モアルノデアリマス、ソレ故外國品ヲ使ハズシテ濟ムト云フ如キ調査ハ、隨分能ク行届イテ行ハレルコトデアラウト信ジテ居リマス

○玉利喜造君 大抵分リマシタガ、鷄卵ノヤウナモノハ日本ニ澤山這入ッテ來テ居ルガ、是ハ課稅ノ加減デ、國產ヲ増スコトニハ何ニモナラヌコトデ、ソレデソンナヤウナコトヲ御問ヒシタノデアリマス

○議長(公爵徳川家達君) 本案ハ日程第二ノ法案ノ特別委員ニ付託イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第四、兌換銀行券整理法案、政府提出、衆議院送付、第一讀會

兌換銀行券整理法案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

昭和二年三月十五日

衆議院議長 紲 谷 義 三

貴族院議長公爵徳川家達殿

(小字及——ハ衆議院修正)

兌換銀行券整理法案

兌換銀行券整理法

第一條 日本銀行ガ發行シタル左記種類ノ兌換銀行券ハ昭和十七年三月三十一日限り強制通用ノ效力ヲ失フモノトス但シ政府又ハ日本銀行ニ於テ受入ルル場合ニ於テハ此限ニ在ラズ

第一 五圓券

一 明治十八年十二月大藏省告示第百六十六號ノ分
二 明治二十一年十一月大藏省告示第百四十號ノ分
三 明治三十二年三月大藏省告示第十號ノ分
四 明治四十三年八月大藏省告示第百七號ノ分
五 大正五年十二月大藏省告示第百六十三號ノ分

第二 拾圓券

一 明治十八年一月大藏省告示第十二號ノ分
二 明治二十三年七月大藏省告示第三十三號ノ分
三 明治三十二年九月大藏省告示第五十一號ノ分
四 大正四年四月大藏省告示第四十四號ノ分

第三 貳拾圓券

一 大正六年十一月大藏省告示第百七十六號ノ分
二 大正六年十一月大藏省告示第百十九號ノ分
三 明治二十四年十一月大藏省告示第三十六號ノ分
四 大正六年八月大藏省告示第百三十六號ノ分

第四 百圓券

一 明治十八年八月大藏省告示第百十九號ノ分
二 明治二十四年十一月大藏省告示第三十六號ノ分
三 明治三十三年十二月大藏省告示第五十五號ノ分
四 大正六年八月大藏省告示第百三十六號ノ分

第二條 日本銀行ハ昭和十七年三月三十一日ニ於ケル前條ノ兌換銀行券ノ發行高ヲ同年四月一日ニ於ケル兌換銀行券ノ引換義務ヲ承繼ス

第三條 第一條ノ期限經過後政府同條ノ兌換銀行券ノ引換義務ヲ承繼スシタル發行高ニ相當スル金額ヲ即日國庫ニ納付スベシ

前項ノ承繼後ニ於ケル引換ハ日本銀行本支店ニ於テ之ヲ取扱フ
第四條 第二條ノ規定ニ依リ日本銀行ノ納付スル金額中滅失ノ爲前條ノ引換ノ請求ナシト認ムル兌換銀行券ノ額ニ相當スル金額ハ國債整理基金特

別會計法第二條ノ規定ニ依ル繰入ノ外之ヲ國債償還ニ充ツル爲漸次一般會計ヨリ國債整理基金特別會計ニ繰入レ其ノ殘餘ニ相當スル金額ハ前條ノ規定ニ依ル引換ノ準備金トシテ日本銀行ヲシテ之ヲ保管セシムベシ

〔國務大臣片岡直溫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(片岡直溫君) 只今上程ニナリマシタ兌換銀行券整理法案ニ付御説明申上ダマス、日本銀行ガ兌換銀行券條例ニ依リマシテ初メテ兌換銀行券ヲ發行イタシマシタノハ、明治十八年五月デアリマスガ、爾來既ニ四十餘年ノ長年月ヲ經マシテ、其間ニ發行セラレマシタ兌換銀行券ノ様式ハ、十七種ノ多キニ上ツテ居リマス、新券發行高ノ累計ハ、五十七億圓以上ニ達シテ居リマス、然ルニ此兌換銀行券ノ中、彼ノ大正十二年關東地方ニ於ケル大震火災ノ如キ場合ハ勿論、其他年々歲々全國各地ニ於キマシテ發生スル天災事故ニ因リ、又ハ各個人ガ亡失紛失シタル等ノ事由ニ因ツテ、滅失イタシマシタ兌換銀行券ハ、今其數額ヲ明カニスルコトハ出來マセヌガ、蓋シ相當ノ巨額ニ達シテ居ルコト思フノデアリマス、而シテ現在日本銀行ガ發表イタシテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ノ中ニハ、是等ノ滅失ニ歸シマシタ兌換銀行券ノ數額ヲ含ンデ居ルノデアリマス、從テ日本銀行ノ發表シマスルシテ居リマスル同行ノ兌換銀行券發行高ハ、其實際ノ流通額ト一致シテ居ラナイ譯デアリマス、而シテ其不一致ハ年數ヲ重ヌルニ連レマシテ、兌換銀行券ノ滅失高ノ増加スルニ從ヒ、益、大トナルノデアリマス、然ルニ兌換銀行券ノ流通額ハ、經濟界ノ實勢ヲ知ル上ニ於テ、最モ重要ナル事項ノ一デアリマシテ、同時ニ一國ノ金融政策ヲ決定スル上ニ於テモ、大切ナル基礎數字デアリマスルガ故ニ、兌換銀行券ヲ整理シ、其發行高ノ數字ヲ、兌換銀行券ノ實際ノ流通額ニ一致セシムルコトハ、最モ緊要ノコトデアルト信ズルノデアリマス、加之滅失兌換銀行券ノ總額ヲ明白ニ致シマシテ、之ヲ日本銀行ノ兌換銀行券發行高ヨリ除去來過當デアリマシタ部分ヲ解放シテ、適切有效ニ利用スルコトガ出來ルノデ

アリマスカラ、我國財政經濟ノ現狀ヨリ見マシテモ、兌換銀行券ノ整理ハ、此際必要ナル施設ト考ヘラレマス、但シ政府ハ以上ノ整理ヲ爲スニ當リ、一舉ニシテ之ヲ斷行スルコトハ、印刷局ノ兌換銀行券製造能力其他ニ鑑ミマシテ、實行上困難ナル關係ガアリマスノデ、政府ハ諸種ノ事情ヲ斟酌イタシマシテ、之ガ整理期限ヲ定メタ次第デアリマス、以上ノ整理ニ依リマス利得ハ、其性質上一般國民ノ損失ニ於テ發生シタルモノデアリマスルカラ、全部ヲ國庫ニ歸屬セシムルコトト致シタノデアリマス、而シテ此國庫ニ歸屬イタシマシタ利得ハ、之ヲ國債整理基金特別會計法ニ依ル法定繰入額ノ外、同會計ニ之ヲ繰入レ、國債ノ償還ニ充テルヤウニ法律ヲ以テ定メテ置クコトガ、最モ適當デアルト考ヘルノデアリマス、尙ホ右ノ繰入ニ依リ償還スル國債ハ、主トシテ震災手形ノ整理ノ爲ニ發行セル國債トナス方針デアリマス、終リニ日本銀行ノ從來發行イタシマシタ一圓兌換銀行券ニ付テハ、從來種々ノ議論ガアリマスルノデ、之ガ整理ニ付テハ慎重ノ考慮ヲ要スルモノガアリマス、而シテ此問題ハ兌換銀行條例改正問題ト併セテ、金融制度調査會ニ於テ尙ホ考究ヲ遂ゲルコトトナツテ居ルノデアリマス、從テ一圓兌換銀行券ノ滅失ニ歸シタルモノノ整理ニ付テモ、其際之ガ方策ヲ講ズルコトヲ適當デアルト考ヘマシテ、本案ヨリハ之ヲ除外イタシタ次第デアリマス、尙ホ本法案ハ兌換銀行券整理ニ關シ、曩ニ金融制度調査會ニ於テ調査決定イタシマシタ趣旨ニ基キマシテ、立案ヲ致シタモノデアルト云フコトヲ附言イタシテ置キマス、卒御審議ノ上、速ニ御協賛アラムコトヲ希望イタシマス

○議長(公爵德川家達君) 本案ハ銀行法案外四件特別委員ニ付託イタシマス、午後一時三十分マデ休憩イタシマス

午後零時二十五分休憩

午後一時四十三分開議

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、茲ニ諸君ニ御諮リ致シタイコトガゴザイマス、議事ノ都合上議事日程ヲ變更イタシマシテ、日

程第六、第七、第八、第九、第十、委員長ノ報告ヲ繰上ダマシテ、日程第五ノ計
理士法案ノ第一讀會ノ續ハ後ニ致シタイト存ジマス、御異存アリマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第六、銀行法案、第七、貯蓄銀行法中改正法
律案、第八、農工銀行法中改正法律案、第九、北海道拓殖銀行法中改正法律
案、第十、非訟事件手續法中改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會
ノ續、委員長報告

銀行法案

右別冊ノ通修正セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

(特別委員ノ修正ニ係ル條ノミチ印刷シ其ノ他ハ之
ヲ略ス小字ハ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ)

第四十二條 本法施行ノ際現ニ銀行ニシテ其ノ商號中ニ銀行ナル文字ヲ用ヒザルモノ及銀行ニ非
ズシテ其ノ商號中ニ銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルモノニ付テハ本法施行後六月ヲ限り

第四條ノ規定ヲ適用セズ

第四十二條 本法施行ノ際現ニ第五條ノ業務以外ノ業務ヲ營ム銀行ハ本法
施行後五年ヲ限リ仍其ノ業務ヲ繼續スルコトヲ得

第四十三條 第三十九條第二項ノ銀行ノ本法施行ノ際現ニ有スル本店及支

店以外ノ營業所又ハ代理店ハ本法施行後一年内ニ主務大臣ノ認可ヲ受ク
ルニ非ザレバ之ヲ存續スルコトヲ得ズ

前項ノ認可申請書ハ本法施行後三月内ニ主務大臣ニ提出スベシ

第四十四條 本法施行ノ際現ニ銀行ノ常務ニ從事スル取締役又ハ支配人ニ
シテ他ノ會社ノ常務ニ從事スル者ハ本法施行後一年ヲ限リ主務大臣ノ認
可ヲ受ケズシテ引續キ其ノ會社ノ常務ニ從事スルコトヲ得

四十五條 第三十九條第二項ノ銀行ニシテ株式會社又ハ外國銀行以外ノ

モノノ業務廢止ニ付テハ主務大臣ノ認可ヲ受クベシ

四十六條 本法中取締役ニ關スル規定ハ第三十九條第二項ノ銀行ニシテ
株式會社又ハ外國銀行以外ノモノニ付テハ其ノ營業主(營業主法人ナル
トキハ其ノ業務ヲ執行スル社員)ニ之ヲ準用ス

貯蓄銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

農工銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリ議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

北海道拓殖銀行法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

非訟事件手續法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

内田嘉吉

貴族院議長公爵徳川家達殿

〔内田嘉吉君演壇ニ登ル〕

○内田嘉吉君 只今日程ニ上リマシタ銀行法案外四件ノ委員會ハ、去ル十日開會イタシマシテ、委員長、副委員長ノ互選ヲナシマシテ、引續キ會議ニ移ッタノデアリマス、先づ銀行法案ヲ議題ト致シマシテ質問ヲナシ、順次非訟事件手續法中改正法律案、貯蓄銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案ノ質問ヲ致シマシテ、一昨日討論ニ入り、銀行法案ニハ修正ヲ加ヘマシテ、附帶ノ希望決議ヲナシマシテ可決イタシマシタ、其他ノ四法案ハ總テ原案ノ通り可決イタシタノデアリマス、此諸法案ノ中、銀行法案ガ重要ナルモノデゴザイマシテ、他ハ之ニ附隨シテ改正ヲ加ヘタモノデゴザイマスノデ、専ラ銀行法案ニ付テ説明ヲ申上ゲタイト思ヒマスル、銀行法案提出ノ理由ハ、過日大藏大臣ガ此席ニ於テ説明ガゴザイマシテ、既ニ速記録ニモ公ケニナツテ居リマスノデ、是ハ總テ省略ヲ致シタイト思ヒマスル、本案ニ對シマスル質問ハ四日ニ瓦リマシテ、大體ヨリ逐條ニ這入リマシテ、詳細爲サレタノデアリマス、先づ大體ノ質問ニ付キマシテ、若干重要なモノニ付テ御紹介ヲ致シタイト存ジマスル、第一、銀行設立ノ沿革ハドウデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府當局ハ答ヘテ申シマスルニハ、銀行

設立ノ沿革ハ、最初ハ地方ニ必要ガアレバ自由ニ許シタモノデアル、金貸會社ガ銀行ニ變形シタモノスラモ有ツテ、政府ハ是等ヲモ不問ニ付シテ居ツタノデアル、明治三十四年ニ、小銀行ノ增加ハ面白クナイカラト云フノデ、資本五十万圓以下ハ許サナイコトニ致シマシタ、又明治四十四年ニ、人口十万以上ノ都市ニハ資本金百万圓以上ト致シマシテ、更ニ大正七年ニハ之ヲ二百万圓以上ト致シタノデアリマス、財界ノ不況ト共ニ、銀行ノ經營モ困難ニナリマシテ、互ニ競争ヲナス狀況デアリマシタノデ、銀行ノ新設ハ之ヲ認メナイ、銀行ノ數ヲ減ズルト云フ方針ヲ取ツテ、合併ヲ勧誘シテ今日ニ及ンダノデアル、斯ウ云フ次第デアリマス、第二ハ、普通銀行ト他ノ金融機關トノ區別ハドウデアルカト云フノニ對シマシテ、政府當局ノ答ヘマスルニハ、銀行ノ定義ハソレバ、從來ノ法規ニアリマス、普通銀行ニ付キマシテハ、現行法デアル銀行條例第一條、新法案ニ於キマシテモ第一條ニアリマス、他ノ金融機關ニ付キマシテハ、例ヘバ貯蓄銀行ニハ、其貯蓄銀行法第一條、產業組合法ニ關シマシテハ、產業組合法第一條、信託業ニ付キマシテハ、其信託法ノ第一條ニソレバ、定義ガアリマシテ、區別ハ明瞭ニ相成ツテ居リマス、是ト各種ノ機關ガ互ニ競合スル、競リ合フ餘地ガアルニ相違アリマセヌガ、是等ハ主務省ニ於キマシテ監督ヲ致シテ居ルト云フノデアリマシタ、第三ハ、金融制度ノ體系ノ整備如何ト云フ問ニ對シマシテ、政府當局ノ答ハ、金融制度ノ體系ハ、中央銀行ヨリ普通銀行、特殊銀行、其他ノ金融機關ニ及ブノデアリマス、是等ノ諸機關ハ互ニ關聯スル所ガアリマスノデ、金融制度ノ改善ヲ遂行イタシマスニハ、同時ニ之ヲ行フコトガ必要デアリマスガ、其實行ハ困難デアッテ殆ド不可能ト思フ、今回切離シ得ベキモノハ切離スト云フ主義ニ依リマシテ、シマスニハ、同時ニ之ヲ行フコトガ必要デアリマスガ、其實行ハ困難デアッテ先づ銀行法案ヲ提出シテ、次第ニ他ノ銀行ニ及ブ積リデアリマス、目下大藏省内ニ於ケル金融制度調査委員會ニ於テ調査中デゴザイマスル、第四ニ、銀行破綻ノ原因ハドウデアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府當局ハ答ヘテ斯ヤウニ申シマシタ、銀行破綻ノ原因ハ色ゴザイマスガ、最モ多イノハ放漫ナル貸付デアル、ソレカラ本店ト支店ト何レニ多イカト云フ御尋ニ付キマシ

テハ、本店ニ多イト申サナケレバナリマセヌガ、支店ニモ相當ニ多イノデア
ル、更ニ銀行ノ破綻ニ關係ノアリマス資金運用ノ偏倚、貸付ノ固定等ニ付キ
マシテハ、行政手段ニテ指導監督ヲ致シテ居ル、斯ウ云フ答デアリマシタ、
第五ニ、本法案ノ規定ハ畫一主義デハナイカ、都市ニモ地方ニモ同ジヤウエ
之ヲ見テ居ルノデハナイカ、例ヘバ倉庫業ノ兼營、不動産ノ擔保、常務重役
ノ兼職等ノ如キ、地方ノ事情ヲ無視シテ居ラナイカ、此質問ニ對シマシテ、
政府當局ハ答ヘテ申シマスルニハ、倉庫業ノ兼營ハ、地方デハ便利ニ相違ナ
イ、併ナガラ倉庫業ト銀行トハ別ニシテ差支ハ無イト思フ、不動産ノ擔保ハ、
別ニ不動産ノ資本化ト云フコトヲ考慮中デアリマス、重役ノ兼職ハ、地方ノ
事情ニ依リマシテ判断ヲ致スカラ、差支ハ無イヤウニスル積リデアル、斯ヤ
ウナ答辯デアリマシタ、其他色々質問モゴザイマシタシ、殊ニ逐條ニ瓦ツタ
質問ハ、一々之ヲ申上グルノ煩ヲ省キマシテ、取纏メマシテ法案ニアリマス
ル項目ニ分類シテ、其主ナルモノダケヲ次ニ御紹介シテ見タイト思フノデ
アリマス、第一ニ銀行ノ業務、新法案第一條ニ依リマスト、銀行ノ本業ハ、
次ニ述ベマスル三通リヨリ成ツテ居ルノデアリマス、一、預金ノ受入ト金錢
ノ貸付トヲ併セ爲スモノ、二、預金ノ受入ト手形ノ割引トヲ併セ爲スモノ、
三、爲替取引ヲ爲スモノ、此以外ニ預金ノ受入ヲ營業トシテ爲シマス者ハ、只
今申述ベマシタ新法案第一條ノ原則カラ見マスルト、銀行ニハナラヌノデア
リマスガ、預金者ノ保護ノ爲ニ、之ヲ銀行ト見做シテ、此法案ノ成立ノ上ハ、之
ヲ適用スルコトニナルノデアリマス、現行ノ條例ニ於キマシテハ、證券ノ割
引ヲ爲スモノモ銀行デアリマスガ、本案ニ於キマシテハ、是ガ改正ニナッタノ
デアリマス、此銀行ノ業務ニ關シマシテ、最モ多ク質問應答ガアリマシタノ
ハ、「ビル・ブローカー」銀行ノ件デアリマス、是ハ一々質問應答ヲ繰返シマ
スコトハ、時間ヲ費ス虞ガアリマスノデ、省キマシテ、政府ノ説明ヲ綜合シ
テ斯様ニ了解ヲ致シタト云フコトヲ政府ニ確メテ、ソレヲ申上グルニ止メタ
イト思ヒマス、政府ノ申シマスル所ニ依ルト、「ビル・ブローカー」ハ二種類
アリマシテ、一ツハ他人ノ計算ニ依ルモノ、一ツハ自己ノ計算ニ依ルモノデ

アリマス、他人ノ計算ニ依ルモノハ銀行トナリ得マセヌガ、自己ノ計算ニ依
ルモノデアッテ、不特定ノ人カラ「コール」等ノ預入レヲ受ケマスルトキニハ、
銀行トナルコトガ出來ル、現在「ビル・ブローカー」銀行ト云フノハ、三店ア
リマス、何レモ新法案ニ依ツテ銀行タルコトノ出來ル條件ヲ具備シテ居ルモ
ノト認メテ居リマス、右ノ如ク「ビル・ブローカー」ニ關シマスル質問ガ餘程
多クアリマシタノデ、政府委員ノ答辯モ多少區々ニ涉ツタ嫌モアリマシテ、
最後ニ委員ノ一員カラ綜合的ニ質問ヲシテ、政府ノ見解ヲ確メタノデアリマ
ス、其質問ハ斯様デアル「ビル・ブローカー」ガ銀行ト同ジダトスルコト
ハ、根本的ニ反對論ガアル、現在ノ「ビル・ブローカー」銀行ニ付テハ、政府
ノ處置ハ諒トスルガ、將來「ビル・ブローカー」ガ發達ヲシテ來ルト信ジテ居
ル、其時代ガ來マスルト、是ハ銀行ト分離シテ、別ノ法制ニ依ツテ免許ヲスル
ナリ、其他ノ處置ヲスル方ガ適當デアラウ、斯ウ云フ質問デアリマシテ、之
ニ政府ノ當局ハ答ヘテ申シマシタ、「ビル・ブローカー」ノ業務ハ、本質上銀
行ト見ルコトハ如何カト思フ、別ニスルコトガ當然デアル、然ルニ現在デハ、
「ビル・ブローカー」ガ銀行ト分科スルノハ時期尙早イト認メル、現在ノ「ビル・
ブローカー」ノ仕事ガ發達シテ參リマスレバ、別ニ監督スル方法ヲ設ケヤ
ウ、斯様ナ答デアリマシタ、銀行ハ、新法案ニ依リマスルト、擔保附社債信
託法ニ依リ、擔保附社債ニ關スル信託業ヲ營ム外……營ムカ又ハ附隨ノ業務
ヲ營ミマスル外、他ノ業務ヲ營ムコトガ出來ナイト云フコトニナッテ居リマ
ス、從來ノ銀行條例デハ、認可サヘ受ケレバ、他ノ事業ヲ兼營スルコトガ容
易デアッタ、現在アリマスル銀行ニ於テ、倉庫業ヲ營ミニマスルモノガ二十有餘
年アル、又代辦運送等ノ業ヲ營ムモノモ數行ゴザイマス、是等ノ他業ハ、將
來ニ於キマシテハ營ムコトガ出來ナクナル、之ニ對シマシテハ經過規定ガア
リマシテ、三箇年繼續スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマス、ソ
レカラ附屬ノ業務ハ何デアルカト云フ質問ニ對シマシテ、政府當局ハ、保護
預リ金錢ノ出納、貴金銀ノ賣買、代金ノ取立、債務ノ保證等ヲ舉ゲテ答ヘラ

レマシタ、證券ノ割引ハ此類ノ業務トシテ營業スルコトガ出來ルト云フ次第デアリマス、第二ハ銀行ノ組織デアリマス、新法案ニ依リマスルト、銀行ハ株式會社デナクテハナラヌコトニナッテ居リマス、現行ノ銀行條例ニハ、此制限ガアリマセヌ、是ハ株式會社ニ付キマシテハ、商法等ニ取締上必要ナル規定ガアリマシテ、銀行ノ事業ヲ堅實ナラシムルニハ、株式會社トスルニ優ルコトハナイ、斯ウ云フ趣旨カラ出デタモノデアリマス、從來ノ銀行ハ、過半今日株式會社ニナッテ居リマスルガ、尙ホ合名會社、合資會社若クハ個人デ經營ヲシテ居ルモノガアリマス、新法案ハ株式會社デナクテハナラヌノデアリマスカラ、是等ノ銀行ハ、相當ノ年限ノ中ニ形ヲ改メバナラヌノデアリマス、其場合ニ對シマシテ、政府案ニ於テハ、七年ノ猶豫ヲ與ヘマシタガ、衆議院ノ修正デ、是ハ五年トナリマシタ、第三ニ銀行ノ資本金デアリマス、新法案ニ依リマスルト、銀行ノ資本金ハ百万圓ヲ原則トシテ、勅令ヲ以テ指定スル地域ハ二百万圓以上トシテ居リマス、其指定スル地域ト云フノハ、政府當局ノ説明ニ依ルト、東京及大阪ノ豫定デアルサウデアリマス、原則トシテ百万圓ト云フコトヲ定メマシタノハ、特ニ基礎ハ無イケレドモ、現在ノ貯蓄銀行法ハ五十万圓、信託法ハ百万圓ト云フコトニ制限ヲシテアル……其以上ト云フコトニナッテ居リマス、又普通銀行ノ平均ハ約百六十万圓デアルサウデアリマスノデ、又政府ガ從來採り來ッタ所ノ標準モ、稍同様デアリマスノデ、只今申述ベタ原則ヲ定ムルニ至ッタノデアリマス、是ハ申ス迄モナク、銀行ノ資力ヲ充實サセル目的ニ出タモノデアリマス、其資本金ニ付キマシテハ、從來ノ銀行ニ對シテ經過的ノ規定ガアリマス、政府ノ原案デハ、舊法ニテ營業ノ認可ヲ受ケタル銀行デ、此法律ガ施行ノ際現ニ存スルモノハ、七箇年ノ間、百万圓ト云フ制限ヲ猶豫サレマス、又從來ノ銀行デアツテ、指定地ニ本店又ハ支店ヲ有スルモノハ、二百万圓ノ制限ヲ七箇年猶豫セラレルコトニナッテ居リマス、又命令ヲ以テ定メマシタ人口一万未満ノ地域ニ本店ヲ持ツテ居リマスル銀行ハ、二十五万圓以内ノ……未満ノ銀行ハ、十箇年ヲ限ツテ新法案ノ適用ヲ猶豫サレコトニナッテ居リマシタガ、衆議院ニ於キマシテ、只今申述べ

タ第一ノト第二ノトノ銀行ハ、猶豫期限ヲ五年ニ修正サレマシタ、又第三項ニ申述ベマシタ銀行ニ付キマシテハ、五箇年以内ニ五十万圓以上ニスレバ差支ナイコトニナッタノデ、政府ノ原案ト少シク趣意ヲ異ニスルヤウニナリマシタガ、實際ニ於テ差支ガナイト云フノデ、政府ハ之ニ同意ヲ表シマシタ、第四、ハ銀行ノ内外ニ對スル關係デアリマシテ、是ハ項目ダケヲ申上ゲルコトニ止メタイト思ヒマス、一ガ定款及資本金ノ變更、二ガ商號、三ガ本店支店其他ノ營業店、四ガ休日、五ガ報告、六ガ取締役及支配人、此各事項ノ中、チヨット申上ゲテ置キタイト思ヒマスノハ、商號ノコトデアリマス、商號ハ銀行ナル……メタイト思ヒマスノハ、商號ノコトデアリマス、商號ハ銀行ナル……ノ銀行ハ必ズ其商號ニ「銀行」ナル文字ヲ用キナケレバナラヌコトニナリマシタ、又銀行ニ非ザルモノハ、其商號中ニ銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用ウルコトヲ得ナイ、斯ウナッタノデ、アリマス、從來ハスカル規定ガ無カッタノデ、銀行デアツテ銀行ト云フ文字ヲ用キナイモノガ相當ニアリマス、此規定ニ對シマシテハ、經過的ノ規定ガ缺ケテ居リマシタノデ、後ニ申述ベマスガ、委員會ニ於テ修正ヲ加ヘタノデアリマス、モウ一つ申上ゲルノハ、常務タル取締役及支配人ハ、他ノ會社ノ重役ヲ兼ヌルコトガ出來ナイト云フコトニナッタノデアリマス、此規定ニ付キマシテハ、一箇年ノ猶豫ガアリマシテ、其間ハ其儘兼職ヲ認メラレテ居ルノデアリマス、第五ハ銀行ノ計算、其項目ヲ擧ゲマスルト、營業年度、積立金、業務報告書、貸借對照表、監査書等デアリマスガ、是ハ法文ニ大體明カニナッテ居リマスノデ、格別質問モゴザイマセヌカラ申述ベマセヌガ、一言申上ゲテ置キタイノハ、監査書ノコトデアリマス、是ハ新シイ規定デゴザイマシテ、監査役ノ責任トシテ、銀行ノ業務並ニ財產ノ狀況ニ關シマシテ、調查ノ結果ヲ記載シタ書類デ、毎營業年度ニ二回作成ヲスベシ、作成ヲシテ本店ニ備へ置クベキモノデアリマス、此點ニ關シマシテ、計理士ノ使用ハドウデアルカト云フ質問ガゴザイマシテ、政府當局ガ答ヘマスル所デハ、計理士ノ法案モ將ニ法律トナラムトシテ居ル場合デアルシ、此法律ガ行ハレマスレバ、其信用モ高マル譯デアルカラシテ、銀行等ニ於テ之ヲ利用スルト云フコトハ、結構ナコトデアルト思フ、斯ウ云フ答デアリマ

シタ、第六ハ銀行ノ併合、合併デス、從前我ガ當局ハ、先程モ申述ベマシタ通リ、銀行ノ設置ヲ寛大ニ許シタノデアリマス、從テ我國ノ銀行ノ數ハ頗ル多クナリマシテ、銀行ガ互ニ競争ヲシ、弊害ヲ生ズルニ至リマシタ、其後銀行ハ合併セシムル方針ヲ採リマシテ、次第ニ合併ガ進捗シテ參リマシタ、尙ホ現ニ於テ合併ノ餘地アルモノモ少ナクナインデ、殊ニ地方ニ於ケル小銀行ノ如キハ、堅實ナル營業ヲ爲サシメマスル爲ニ、一層合同ヲ獎勵スル必要ガアル、委員ノ一員ヨリ、合併ハ結構デアルガ、玉石混淆ノ合併ハ中止シナケレバ、クマイト云フ警告モゴザイマシタ、第七ニ銀行ノ検査、銀行ノ検査ハ主務大臣ニ於キマシテ之ヲ行フ譯デアリマス、新法案ノ實施ト共ニ、検査官ノ定員ヲ増シテ、周到ナル検査ヲ行フ筈デアッテ、其經費ハ提出中ノ昭和二年度ノ豫算ニ計上サレテアリマス、又別ニ日本銀行ガ契約ニ依リマシテ銀行ノ検査ヲ爲スコトモアリマス、是ハ主務省ノ検査ト相俟ツテ效果ヲ擧ゲルデアラウト認メマス、第八、主務大臣ノ處分及解散、前ニ申述ベマシタ検査等ノ結果ニ依リマシテ、主務大臣ハ業務ノ停止又ハ財產ノ供託ヲ命ジ、其他必要ナル命令ヲ爲スコトガアリマス、又取締役監査役等ノ解任ヲ命ジ、又ハ營業ノ免許ヲ取消スコトガ出來マス、免許ヲ取消サレタル場合ニハ、其銀行ハ解散スルノデアリマス、銀行ハ主務大臣ノ命令ニ基ク外、決議ニ依リマシテ、業務ヲ廢止シ又ハ解散ヲ爲スコトガ出來マス、此場合ニ、銀行ヲシテ勝手ニ業務必ズ主務大臣ノ認可ヲ受ケサシテ、若シ認可ヲ受ケナケレバ、其決議ハ效力ヲ生ジナイト云フコトニナツテ居リマス、第九ガ銀行ノ清算、清算ヲ裁判所ト主務省ノ共同ノ仕事ト致シマシタコトハ、新法案ノ特色デアリマシテ、整理ノ進捗ヲ求ムル趣意デアルト云フ御説明ガアリマシタ、第十、銀行法ヲ施行セザル土地ニ本店ヲ有スル銀行、此銀行ニハ二種類ゴザイマスル、一つハ朝鮮、關東州、南満洲鐵道租借地ニ本店ヲ有スルモノ、一つハ外國銀行デアリマス、此二ツノモノハ、本法施行地ニ營業所ヲ設ケムトスル場合ニハ、營業所毎ニ代表者ヲ定メ、免許ヲ受ケナケレバナラヌコトニ規定ガ相成リマシタ、尤モ

此銀行ニ付キマシテハ、資本金トカ、商號トカ、業務トカ、營業所トカ、積立金トカ、マア其他ノ事項ニ關シマシテ、全然新法ヲ適用スルコトモ出來ヌ簡條モアリマスノデ、別段ノ規定ヲ命令ニ於テ設ケルコトガ出來ルノデアリマス、只今申上グマシタ朝鮮關東州等ニ在ル銀行ニ付キマシテハ、本法施行地ニ營業所ヲ設クルニ當リマシテ、出來ル限リ本法施行地内ノ銀行ト同様ニ主ナルモノヲ舉グマスト、銀行條例ニ、認可ヲ受ケズシテ銀行業ヲ營ンダル者ハ千圓以下ノ罰金ニ處セラレルトアリマシタノガ、新法案デハ、免許ヲ受ケズシテ銀行業ヲ營ンダルモノハ五千圓以下ノ罰金ニ處セラレルコトニナリマシタ、其外現行ノ銀行條例ニハ、體刑ヲ科シタ規定ハアリマセナシダガ、新法案ニ於キマシテ、三十四條ニ、一年以下ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレルト云フ規定ガ設ケラレマシタ、其事項ハ法文ニ明カデアリマスノデ、申述ヨリ施行スル豫定デアルサウデアリマス、次ニ非訟事件手續法中改正法律案、貯蓄銀行法中改正法律案、農工銀行法中改正法律案、北海道拓殖銀行法中改正法律案ニ付キマシテ、政府當局ノ説明ヲ聽キ、質問ヲ致シマシタ、只今列舉イタシマシタ總テハ、銀行法ノ制定ニ伴ヒマシテ、修正ヲスルコトヲ必要ト致シタノデアリマス、只今順次申述ベマシタ終リノ三法案ハ、極メテ簡單ナ改正デアリマス、是ハ一々申上グルマデモナイト考ヘマス、非訟事件手續法中改正法律案ニ付テハ、簡単ニ一言、説明ノアリマシタコトヲ御紹介ヲ致シテ置キマス、此法律ニ於キマシテハ、裁判所ガ請願事務ニ關與イタシマス爲ニ、其管轄裁判所ヲ何處デアルカト云フコトヲ定メマシタコト、其清算ヲスルニ付テノ手續並ニ報酬等ニ關スル規定ヲ設ケタノデアリマス、以上申上グマシタ通ノ順序ニ依リマシテ、質問ヲ爲シマシテ、付託ニナリマシタ五ツノ法律ニ對シテ質問ヲ終リマシテ、先づ銀行法ノ討論ニ入リマシタ、此際第四十一条ノ次ニ一條ヲ加ヘルト云フ修正案ガ出マシタ、其修正案ハ御手許ニ差上ゲテアリマスト思ヒマスガ、一應朗讀ヲ致シテ置キタイト思ヒマス

本法施行ノ際現ニ銀行ニシテ其ノ商號中ニ銀行ナル文字ヲ用ヒザルモノ及
銀行ニ非ズシテ其ノ商號中ニ銀行タルコトヲ示スベキ文字ヲ用フルモノニ
付テハ本法施行後六月ヲ限り第四條ノ規定ヲ適用セズ
四十二條ノ加リマシタニ依リマシテ、原案ノ四十二條ヲ四十三條トシ、以下
順次箇條ヲ繰下グタノデアリマス、右ハ最近ニ本院ニ於テ議決ニ相成リマシ
タ保險業法中改正法律案ニ付テ、同ジャウナ種類ノ條項ガアリマシテ、本院
ニ於テ修正ヲ加ヘマシテ決議ニ相成リマシタ、其例ニ則ツタニ外ナラヌノデ
アリマス、其他ノ箇條ハ原案ノ通デ異議ナク可決イタシマシタ、採決ノ際ニ
委員ノ一員カラ動議ガゴザイマシテ、希望決議ヲ提案ニ相成リマシタ、其決
議ハ

金融制度ノ改善ハ金融體系ニ屬スル各種機關ヲ整備シ可成同時ニ之ヲ實施

スルニアラザレハ豫期ノ效果ヲ舉クルコト能ハサルヘシ今次銀行法案ノ提
出アリ政府ハ速カニ中央銀行特殊銀行其他各種金融機關ノ改善案ヲ帝國議
會ニ提出シ普通銀行ノ整理ト相俟ツテ金融制度ノ改善ヲ完全ナラシムコ

トヲ望ム

斯様ナ譯デアリマス、其理由ハ、銀行法案ガ本院ノ日程ニ上ボリマシタ時ニ、
大藏大臣ガ説明セラレマシタ、金融制度ノ調査ハ銳意進捗ヲ圖ッテ居リマス
ガ、各種事項ニ關スル成案ノ完了スルノハ容易ナコトデナイ、依テ緊急ヲ要
シ分離シ得ルモノハ順次提出スルコトシ、銀行法案ヲ提出シタノデアルト
申サレマシタ、其他金融制度ノ整備ヲ要スルモノハ、十數項ニ亘ツテ、目下大
藏省ニ於ケル金融制度調査會ニ於テ調査中デアル趣デアル、金融制度ノ改善
ハ、普通銀行ノ改善ノミニ依ツテ完全ナリト云フコトハ出來ナイ、大ナルハ
中央銀行、特殊銀行、其他各種ノ金融機關ノ改善ニ俟タナケレバナラナイ、
是等ノ機關ハ互ニ相關聯スルモノデアッテ、銀行法案ダケデハ金融制度ノ整備
ガ出來ルトハ思ハレナイ、又法案ノ審査ニ際シ、各種機關ノ關係ニ付テ詳細ナ
質問ガアツタノハ、其邊ノ考慮カラ出デタルモノト思フ、銀行法案ノミニテ、
關聯ノアル他ノ法案ガ提出セラレナケレバ、此法案モ寧ロ空文ニ屬スル虞ガ

アルデハナイカ、政府ハ速ニ調査ヲ遂ゲ、少クモ次ノ帝國議會ニ提出サレタ
イ、斯ウ云フ次第デアリマス、此希望決議ハ満場一致ヲ以テ可決イタシマシ
タ、次ニ貯蓄銀行法中改正法律案外三件ノ討論ニ入リマシテ、採決ヲ致シマ
シタ所、總テ原案ノ通り可決イタシタノデアリマス、銀行法案外四件ノ委員
會ノ經過及結果ハ、以上御報告ニ及シダ通デアリマス、願ハクハ委員會ニ決
定イタシタヤウニ御賛成アラムコトヲ願ヒマス

○議長(公爵德川家達君) 特別委員會ノ報告ハ、同一委員ニ付託ト相成リマ
シタ故ニ、日程第六ヨリ第十マデ一括シテ委員長ノ報告ヲ煩ハシマシタガ、
只今問題ト致シマスノハ、日程第六ノ銀行法案ノミト御承知ヲ請ヒマス、本
案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ
ス

○子爵柳筍隆督君 贊成

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 此際問題ト致シマスノハ、委員會ニ於テ修正セラ
レマシタ箇條ヲ先づ問題ニ供シマス、委員會ノ修正ニ御異存ゴザイマセスカ
マス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス、アトハ全部ヲ問題ニ供シ

マス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○子爵西大路吉光君 直チニ本案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ
ス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議通リデ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 次ニ議事日程第七ヨリ第十マデ一括シテ問題ニ供

シマス、各案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵西大路吉光君) 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ

ス

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 各案全部ヲ問題ニ供シマス、原案ニ御異存ゴザイ

マセヌカ
〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマ

○子爵櫛笥隆督君 賛成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 日程第十一ヨリ十六マデハ同一委員ニ付託セラレ

マシタカラ、報告ハ一括シテ煩スコトニ致シマス、添田壽一君

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

登錄稅法中改正法律案

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵徳川家達殿

印紙稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵徳川家達殿

砂糖消費稅法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵德川家達殿

關稅定率法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵德川家達殿

商事非訟事件印紙法中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵德川家達殿

明治四十年法律第二十一號中改正法律案

右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和二年三月十五日

右特別委員長

添田壽一

貴族院議長公爵德川家達殿

○添田壽一君 本月ノ十二日ニ、委員長並ニ副委員長ノ選舉ヲ了シマシテ、十四日十五日ノ兩日ハ、午前午後ニ亘リ委員會ヲ開催イタシタノデアリマス、政府ヨリハ、黒田主稅局長、小山農林政務次官、豊田樺太長官ガ出ラレマシテ、各案ノ提出ノ理由ヲ述べラレ、又各委員ヨリ質疑ガゴザイマシテ、隨分巨細ニ涉ッタノデアリマスルガ、何シロ中ニハ非常ニ専門的ナ事柄モゴザイマシテ、ナカニ複雜ヲ極メテ居リマスルガ故ニ、極ク細目ノ事柄ハ速記錄ニ譲リマシテ、成ルベク皆様ヲ、此會期切迫ノ際煩ハスコトヲ慎ミタイト思フノデアリマス、故ニ私ハ唯大體ノ御報告ヲ申上ゲルコトニ止メテ置キマス、詰リ此六ツノ法案ノ共通ノ目的ハ、矢張リ稅制整理ノ一部分ヲナシテ居ルト云フ點デアリマス、而シテ財政ノ許シマスル範圍ニ於キマシテ、負擔ノ均衡ヲ圖リ、社會政策ノ目的ヲ達シ、產業ノ振興ヲ努メ官民ノ手數ヲ省略シ、稅務行政ノ改善ヲ圖ルト云フ所ニ、其目的ガ存シテ居ルノデアルト云フコトヲ確メ得タノデアリマス、第一ニハ、此日程第十一、登錄稅法中改正法律案ニ付テ、極ク大體ヲ申上ゲルノデアリマス、此法律ハ御承知ノ通り、明治三十二年ニ改正ニハナリマシタノデアリマスガ、大體餘程時ヲ經タ法律デアリマス、時勢ニ伴ヒマセヌ點ガ少カラヌノデアリマス、ソコデ稅ヲ幾ラカ軽カラシメルト云フノデ、不動產及船舶ノ率ヲ低メマスルシ、或ハ其後發達シテ參リマシタ信託業ノ點ニ顧ミマシテ、多少ノ稅率ヲ修正イタシマシタ、其他此法人ノ合併ト云フコトガ、財界ノ整理ノ一端トシテ必要デアルヨリシテ、矢張リ稅率ヲ低メマシタノデアリマス、ソレカラ社會政策の見地ヨリ自作農創設維持ニ關シマスル率ヲ廢メ、或ハ農業發達ノタメ、農業倉庫、或ハ小住宅建設等ニ關シマスル率ヲ廢メマシタ如キハ、最モ著シイ點デアリマス、是等ノ減免ノ幾分カヲ補填セムガ爲ニ、合名、合資會社、即チ商業登記ノ率ヲ多少引上ゲテアルノデゴザイマスケレドモ、尙ホ差引キ減收ガ二百二十万圓バカリニ達スルノデアリマス、續イテ質問ノ主ナルモノノミヲ申上ゲ

タイト思ノデアリマス、已ムヲ得ザルモノノ方ダケニ止メタイト思ヒマス、一々申上ゲマスルト非常ニ煩瑣ニ涉リマスカラ、又時間ヲ要シマスカラ、極ク重大ナル關係ニアルト思フモノダケヲ申上ゲマスレバ、只今申上ゲケマシタ減收ノ點ニ付テ、財政ノ上ニ如何ナル影響ヲ及ボスカト云フ質問モゴザイマシタ、之ニ對シマシテ政府ハ、詰リ租稅整理ノ上カラ已ムヲ得ナイ、相當他ノ方面ニ於テ補填ヲ圖ル積リデアルト云フ答デアリマシタ、或ハ更ニ產業組合ト云フ形ニ依リマシテ、幾分租稅ノ負擔ヲ輕カラシムルト云フヤウナ弊ハ無イカト云フヤウナ質問モゴザイマシタ、之ニ對シマシテハ、政府ヨリ精シク產業組合ニ對スル監督ノ狀況ヲ述ベラレ、又見込モ述ベラレマシテ、無イ積リデアルケレドモ、尙ホ大ニ將來注意ヲスルト云フ回答ガゴザイマシタ、又無償名義ニ因ル所有權取得ト云フ點ニ付キマシテ、千分ノ六十ト云フ率ヲ、或ハ千分ノ四十五、或ハ二十五ニ引下ゲタノデアリマス、其結果、コニモ亦脱稅ノ弊ハナイカト云フ質問ニ對シマシテハ、政府ハ十分ニ調査ヲ致シマシテ、此稅率ノコトハ至當ナル所ニ定メタト云フ自信ヲ以テ、大シタ脱稅ノ憂ハナカラウトスウ云フ御答デアリマシタ、又自作農ニ關シマシテモ質問ガゴザイマシタ、是ハ大分廣キニ瓦ッタ質問デアリマシタ、之ニ付キシテモ政府ヨリ、口頭或ハ書面ニ依リマシテ、詳シキ返答ガゴザイマシテ、詰リ是モ矢張リ、此稅率ノ低マツタト云フ爲ニ、益脱稅ト云フ弊ヲ生ジヤシナイカト云フ關係カラ生ジタ質問デアリマス、政府ハ一層注意ヲ拂ッテ、サウ云フ弊ノ無イコトヲ努メルト云フ答ヲサレマシタ、本案ニ對シマシテハ、衆議院ニ於テ修正ガゴザイマス、即チ此十九條ノ八號ノ自作農ノ創設維持ニ付テハ、政府ノ原案デハ即チ國庫補助ノ交付ヲ受ケテ行フト云フ、ソコニ制限ガアツタノデゴザイマスガ、衆議院ニ於キマシテ其制限ヲ取ラレテ、範圍ヲ擴メラレタノデアリマス、之ニ對シマシテ、政府ノ贊成不贊成ヨリハ、其贊成サレマシタ理由ヲ確メマシタ所ガ、事實ニ於テ、實際ニ臨ンデ注意ヲ加ヘレバ、範圍ノ擴マツタ爲ニ別段弊ヲ生ズルト云フ……差支ヲ生ズルト云フコトハナイト云フ返答ヲ得マシタノデアリマス、ソレカラ次ハ極ク問題ヲ

端折リマシテ、印紙稅法ノ大要ヲ申上ゲマス、是亦大正二年ニ改正ニハナリマシタケレドモ、甚ダ改正ニ不徹底ナ點ガアリマス、今回ハ政府ノ意思ヲ探リマスレバ、詰リ根本的ニ改メタイト云フ所ニアルヤウデゴザイマス、殊ニ最モ重キヲ置カナケレバナラヌノハ、今マデ此官民共ニ非常ニ争ヲ喚ビ起ス原因トナツテ居リマスル所ノ、總テ比例稅ヲ廢シタイト云フ點デアリマス、此度ハ此新案ニ於キマシテハ、單純ナル定額稅ト、ソレカラ階級的定額稅トノニツニナリマシテ、即チ例ヘバ何圓以上ノモノハ何錢、其以下ノモノハ何錢ト云フガ如キガ、所謂階級的定額稅デアリマス、又單純ニ一ツノモノニ付キ三錢トカ五錢トカ云フヤウニ決メルノガ即チ定額稅デアリマスガ、例ヘバ貸借證書、契約證書、讓渡證書ノ如キハ、第四條ヲ御覽ニナリマスレバ、明瞭ナルガ如ク、階級定額稅ニ改マツテ居リマス、其他質權、抵當權設定ノ證書等ハ三錢ト云フヤウナ風ニ、單純ナル定額稅ニ定メラレタ點デアリマス、更ニ進ミマシテハ、社會政策ノ見地カラト云ウテ宜カラウト思ヒマス、或ハ產業獎勵ノ趣旨カラト云ウテモ宜カラウト思ヒマスノデアリマス、貯蓄銀行、產業組合ノ通帳ヲ免稅シ、質札、職工勤務ノ通帳ナドト云フヤウナモノモ免稅シテモ政府ヨリ、口頭或ハ書面ニ依リマシテ、詳シキ返答ガゴザイマシテ、ト云フモノモ、免稅ノ中ニ入レラレタコトハ、私ハ非常ナ改善デアルト思ヒマス、是ハ實際使用スル人ニ取りマシテハ、非常ニ便トスル所デアリマス、委員中ニ於キマシテモ、此點ハ大ニ多トスルト云フ贊意ヲ表セラレタ御方モアルノデアリマス、實際家ハ非常ニ歡迎セラレル點デアラウト思フノデアリマス、其免稅ノ一部ノ補填ノ爲ニ通帳ノ今マデ三錢デゴザイマシタノヲ、五錢ニ引上ゲマシタ、判取帳ノ二十五錢デアリマシタモノヲ、五十錢ニ引上ゲタノデアリマスケレドモ、約百四十七万圓ノ尙ホ減收ヲ見ルノデアリマス、ガ併シ是等ノ改善セラレタル利益ニ較ベマスレバ、國庫ガ是位ノ犠牲ヲ拂ハレルコトハ、當然デアラウト思フノデアリマス、印紙稅ニ付キマシテハ、非常ニ質問ガ澤山ゴザイマシタ、之ヲ一々申上ゲマスルト云フコトハ、非常ニ

長時間ヲ要シマスル故ニ、ドウゾ省略スルコトヲ御許シヲ願ヒタイト思フノデアリマス、併シ其中ニ於キマシテモ最モ重キヲ置カナケレバナラヌモノニ二三ヲ申上ゲマスレバ、受取書ノ課稅範圍ニ這入ルモノガ、十圓以下トナッテ居ルノデアリマス、之ヲ五十圓以下ニ改メルコトハ出來ナイカト云フ質問デアリマス、是ハ非常ニ納稅者ノ方カラ見マスレバ、五十圓ニナルト云フコトハ便利ニ相違ナイノデアリマス、ガ之ニ對シマシテハ、政府委員ハ歲入ニ非常ナル影響ヲ及ボスガ故ニ、遺憾ナガラ同意スルコトガ出來ナイト云フ答辯ヲサレマシタノデアリマス、ソレカラ又通帳ノ五錢ヲ三錢ニ下ゲルコトハ出來ナイカト云フ質問モアリマシタ、是亦實際家ト致シマシテハ、實ハ大ニ理由ノアル質問デアッタノデアリマス、ソレニ對シマシテハ、政府ハ矢張リ歲入ノ減額ノ著シイト云フコトヲ一つノ理由トサレ、今一つノ理由ハ、詰リ通帳ト云フガ如キハ、事項ヲ幾ツモ記載シタモノデアリマス、唯一ツノ事項ヲ記載シタモノデモ三錢ノ定額稅ヲ拂フノデアリマスガ故ニ、先づ俗ニ云フ是我慢シテ貰ヒタイト云フ答辯デゴザイマシタ、ソレガ第二ノ理由トシテ、政府ノ其質問ニ對シテ贊意ヲ表シ難イ意思ヲ表明サレタモノデアリマス、又使用濟ト申シマスカ、勘定濟ノ、例ヘバ仕切書ノ如キヲ、或ハ受取ナリト認メテ課稅スルト云フヤウナコトガアリマシテ、非常ニ實際困ルト云フ點ニ付テ、質問ガアッタノデアリマス、ソレ等ニ付キマシテハ、政府ハ十分ニ其解釋ヲ定メ、取扱ヲ一定シ、所謂當業者ニ迷惑ノ掛カラヌヤウニ注意ヲ拂フト云フコトノ答辯ガアッタノデアリマス、第十三ノ砂糖消費稅法中改正法律案ニ付キマシテ、色ム政府ノ考ヲ探ッテ見マスルト、矢張リ是モ社會政策ト云フ點ト、後ニ申上ゲマスル關稅定率法ノ改正ニ伴フ改正デアルノデゴザイマス、第一種、第二種、第三種、第四種、第五種ト現在別レテ居ルノデアリマス、ソレハ詰リ和蘭標本ノ十一號未満ノモノガ即チ第一種ニナルノデゴザイマス、ソレカラ標本ノ第十五號未満ノモノガ第二種トナルノデアリマス、第

十八號以下ノモノガ第三種トナルノデアリマス、二十一號未満ノモノガ即チ第四種トナルノデアリマス、二十一號以上ノモノガ即チ第五種、第六種トナッテ居ルノデアリマス、此間ニモ色ム小サナ、マダ色ノ度合ガゴザイマスルケレドモ、要スルニ斯ウ云フ差ニ依ッテ、此種類ガ現在別ケテアルノデゴザイマス、デ第一種ノ即チ十一號未満ノモノハ、俗ニ云フ黒砂糖デゴザイマス、ハ煮物位ニ用キル位ノモノデアリマシテ、詰リ是此所謂樽入黒糖ノ如キハ、全ク極ク最下ノ程度ノモノデアリマシテ、詰リ是改メタノデアリマス、其他モ此種類ニ屬シマスルモノハ、ソレハ百斤ニ付テ五十錢ヅツ位稅ヲ引キ下ゲタノデアリマス、是ハ今申上ゲマス通り、社會政策ト云フ方カラモ來リマスルケレドモ、是等ノ種類ノ砂糖ハ、沖繩或ハ鹿兒島縣ノ大島邊リニ於テ生產サレマスルモノデアリマスルガ故ニ、是等ノ地方ノ產業獎勵ト云フ意味モ含マレテ居ルノデアリマス、現行ノ第二種、第三種ノ稅ハ、現在デハ、一つハ五圓、一つハ七圓ニナツテ居リマスノヲ、二、三ノ二ツヲ含マセテ一種ト致シマシテ、今度ハ五圓ニ統一シタノデアリマス、ソレカラ現行ノ第四種ト云フモノハ、今八圓デゴザイマスガ、是亦七圓三十五錢ニ引下ゲタノデゴザイマス、現行ノ五種ノ即チ一番先ヅ上等ノ砂糖ト申シテ差支ナイモノハ、ズット他ノモノトノ釣合上、矢張リ九圓デアリマスルモノヲ、八圓三十五錢ニ改メタノデゴザイマス、糖蜜、糖水ニ至ルマデモ、皆右ノ結果多少ノ改正ヲ加ヘタノデアリマス、是ハ詰リ海關稅定率ノ改正ノ結果トハ申サレヌニシテモ、其定率稅改正ニ相伴フ必要カラ來テ居ルモノト云フコトダケハ申上ゲテ差支ナイト思フノデアリマス、此稅ニ付キマシテモ多クノ質問ガゴザイマシタ、例ヘバ果シテ、樽入黒糖ト申シマスカ、黒砂糖ノクノ質問ガゴザイマシタ、例ヘバ果シテ、樽入黒糖ト申シマスカ、黒砂糖ノクノ質問ガゴザイマシタ、例ヘバ果シテ、樽入黒糖ト申シマスカ、黒砂糖ノクノガアルト云フ見込デアルト云フ答辯ヲサレタノデアリマス、ソレカラ即チラウカト云フヤウナコトニ付キマシテ、政府委員ハ、其影響ハ甚ダ良好ナルモ此俗ニ云フ黒砂糖ノ率ガ下リマシタ爲ニ、益、此所謂黑砂糖ノ方ヘ餘計ニ生産ガ向フヤウナ嫌ハ無イカト云フ質問ニ對シマシテハ、ソレハ値段、需要供

給ノ關係ガアリマスカラ、左程大シタコトハ無カラウト云フ答辯デアリマシタ、次ハ第十四ノ海關稅ノ、關稅定率法ニ付テ申上ゲマス、此改正ハ強チ保護政策ナドト云フ問題ハ含ンデ居ラナイコトヲ私ハ悟リマシタノデアリマス、主トシテ只今ハ非常ニ不自然ナコトガ行ハレテ居ルト云フ爲ニ、此砂糖業ニ甚シキ障碍ヲ與ヘテ居ル、ソレラノ不自然ナル點、障碍トナル點ヲ除クト云フガ、此改正ノ主眼ト認メタノデアリマス、即チ現行ノ矢張リ第一種ハ即チ第十一號以下デゴザイマス、是ハ百斤ニ付テ二圓五十錢ト云フ海關稅率ニナッテ居リマシタノハ、是ハ据置クコトニナッテ居リマス、所ガ第二種、第三種、第四種、其他即チ二十一號以上ノ物ニ付キマシテハ、第二種ハ三圓十錢百斤ニ付テ取ルコトニナッテ居リマス、ソレカラ第三種ハ三圓三十五錢取ルコトニナッテ居ル、第四種ハ四圓二十五錢取ルコトニナッテ居ル、此度ハ之ヲ一ツニ集メテ一種トシテシマッタノデアリマス、サウシテ稅率ヲ、凡ソ其三ツノ平均ヲ御取リニナルト分リマスガ、三圓九十五錢ト云フコトニ單純ニシタト云フコトガ重大ナ點デアリマス、此海關稅率ノ單純ニナルト云フコトハ、非常ナ是ハ重大ナ問題デアリマス、而シテ此即チ、其他ト云フ最後ノ二十二號以上ノ物二十二號マデモ今申シマシタ中ニ入レタト云フコトハ、茲ニ二十二號ヲ持ッテ居リマセヌガ故ニ、御覽ニ入レル譯ニ參リマセヌケレドモ、非常ニ多ク統一サレタノデアリマス、其他ノト稱シマスルノハ、二十二號以上ノ所謂白砂糖デ、之ニ付キマシテハ段々今申上ゲマシタ改正ニ依リマシテ、算盤ヲ申上ゲマスルト面倒ニナリマスカラ、略シテ置キマスルガ、詰リ是ハ現在四圓六十五錢トナッテ居リマスルモノヲ、五圓三十錢ニ改メマシタノデアリマス、デ斯クノ如ク色ノ度合ニ依リマシテ定メルト云フコトハ、實ハ非常ナ是ハ幼稚ナヤリ方デアリマス、發達ヲシナイヤリ方デアリマス、本當ヲ申シマスレバ極ク稅務ノ進ンダル方面ノ他ノ國ノ用キテ居ル方法ニ依リマスレバ、糖度、即チ砂糖ノ度合ニ依ッテ取ルノガ本當ナノデアリマス、支

那ダトカ印度トカ云フ所デハ、此所謂マダ原始的ナ方法デヤッテ居ルノデアリマス、我國モ願ハクバ糖度即チ砂糖ノ度合ニ依ッテ取ルト云フ迄進ミタイト思フノデアリマスルガ、此點ニ付キマシテ政府ノ意見ヲ確メテ見タガ、ドウモマダソコ迄進ンデ居ナイノハ、我國ニ於キマシテハ、少シク他ノ國ト事情ノ異ナッタモノガアルト云フ點ガ、主ナル理由デアリマス、例ヘバ我國ニ於キマシテハ、寧ロ此白イモノヨリハ、或ハスウ云フ黒イモノノ方ガ値段ガ好イト云フヤウナル變態ノ場合モアルカラデアリマス、其他色々ニ非常ニ種類ガ多イ爲ニ、今申上ゲマスル糖度ニ依ッテ稅率ヲ定メルト云フ、正確ナル納稅手段ニ出ルト云フコトハ、未ダ出來ナイト云フコトヲ遺憾トルト云フ答辯デアリマシタ、ソレカラ其定率法案ノ中ニ於キマシテ、第二百四十四號ト申シマスルノハ、是ハ海關稅率表番號デゴザイマス、其番號ノ二百四十四號ハ、酸化「コバルト」ト云フ種目デアリマス、是ハ國內ニ於テモ段々一時製作ガ始マリマシタ爲ニ、稅ヲ掛ケルコトニナッタノデアリマス、然ルニ此「コバルト」ナルモノハ、非常ニ瀬戸塗ノ鐵器、磁鐵鐵器ト申シマスルモノ、皆様ノ澤山御使用ニナルモノデゴザイマス、其他殊ニ我國產ノ中ニ於テ重キヲ有シテ居ル所ノ瀬戸物ノ、即チ色料ニナルノデアリマス、實ニ是ハ我產業私ハ甚ダ美譽デアルト考ヘルノデアリマス、而シテ此即チ、其他ト云フ最後ノ二十二號以上ノ物二十二號マデモ今申シマシタ中ニ入レタト云フコトハ、茲ニ二十二號ヲ持ッテ居リマセヌガ故ニ、御覽ニ入レル譯ニ參リマセヌケレドモ、非常ニ多ク統一サレタノデアリマス、其他ノト稱シマスルノハ、二十ニナリマシタ以上ハ、斯ノ如キモノカラ極ク少量ノ稅ヲ取リマシテ、更ニ大ナル結果引合ヒマセヌト云フ所ヨリ、遂ニ我國ニ於テサウ云フ製產ニ著手シタ者ガ廢業スル者ガ多クナリマシテ、殆ド我國デハ出來ナイト云フヤウナ狀況ニナリマシタ以上ハ、斯ノ如キモノカラ極ク少量ノ稅ヲ取リマシテ、更ニ大ナル所ノ產業ニ障礙ヲ及ボスト云フコトハ、非常ニ誤タル政策デアルト云フ所ヨリ、寧ロ進ンデ之ヲ無稅ニシテ、此稅ガ取レルカ、取レナイカト云フ問題ヲ犠牲ニ致シマシテ、更ニ進ンデ此琺瑯鐵器、或ハ瀬戸物ノ輸出製作ニ獎勵ヲ與ヘタイト云フ趣旨ハ、私ハ甚ダ是ハ至當ノコトト考ヘルノデアリマス、此稅ニ付キマシテモ、大分質問ガゴザイマシタ、少シク重大デアルト思ヒマスルガ故ニ……内國稅ノ所デハ餘リ重キヲ置クコトガ出來ナカッタノデ

アリマスガ、此海關稅率ノ場合ニ於キマシテハ、斯ウ云フ質問ガ餘程重大ナ意味ヲ持ッテ居ルト思フカラ申上ゲマス、即チ今申上ゲマスル通り、此第一種ノ部類ニ屬スルモノガ安イナラバ、實際此第二種、其以上ノモテガ色ヲ著ケテ、所謂オ白粉ヲ著ケル代リニ、黒イモノヲ即チ著色イタシマシテ、此安イマセヌ、事實サウナッテ居ルノデゴザイマス、今日此海關稅ノ改正ニ依リマシテ、其弊ガ一層甚シクナリハセヌカト云フ質問ニ對シマシテハ、此度ノ改正ノ總テノ稅率ノ程度カラ考ヘ、且又需要供給ノ關係カラ考ヘレバ、左程其弊ハナカラウト云フコトデアリマシタノデスガ、是ハ政府ニ於テモ注意セラレタイト云フ希望ハ述ベテアルノデアリマス、現在ト雖モ、非常ニ此色ノ薄イモノガ色ヲ黒ク致シマシテ、安イ稅デ這入リマス、サウシテ今度ハソレガ實際原料トシテ使フ時ニハ、之ヲ洗ヒ落シマスト云フコトニ依ッテ、脫稅ガ行ハレ勞費ガ掛カルト云フコトヲ改メル爲ニ、今度ノ稅率ノ改正ガ出來テ居ル譯デアリマス、第十五ノ商事非訟事件印紙法中改正法律案ニ付キマシテハ、最早極ク單純ノコトデゴザイマスガ故ニ、皆様ヲ煩ハス必要ハナイカト思ヒマスケレドモ、是ハ破產財團ノ金額ハ、多クハ少額ノモノデアリマス、從ツテ印紙ヲ貼用セシメマス爲ニ、債權者ノ受ケマスル配當ニ、ソレダケ喰込ンデ參リマス、大キナ財團ノ場合ニハ差支ゴザイマセヌケレドモ、極居ル譯デアリマシテ、是ハ至極尤ニ承ツタ譯デアリマス、ソレカラ第十六ノク少額ノ財團ノ場合ニ於キマシテハ、甚ダ酷ニナルト云フ爲ニ、此案ガ出テ居ル譯デアリマシテ、是ハ至極尤ニ承ツタ譯デアリマスガ、色色ノ事情ヲ政府委員カラモ述ベラレマシタガ、餘リ感服モ仕リマセヌデアリト改メル、是ハ全ク文字ノ改正ニ止マルノデアリマス、醬油稅モ廢止スルト云フヤウナ譯デ、唯遲レタリト云フニ過ギナイ理由デゴザイマシテ、別ニド

ウモ感服スベキ理由ハナイノデアリマス、之ニ付テモ、課稅上内地ト多少事情ヲ異ニスルト云フヤウナ話モ出マシテ、何ガ故ニ事情ガ違フカト云フコトニ付テ應答モゴザイマシタケレドモ、總テモウ省略イタシマス、以上申上ゲマシタ結果ヲ總テ綜合イタシマスレバ、登錄稅ノ上ニ於テ二百二十三万三千圓ノ減收ヲ見、印紙稅ニ於テ百四十七万圓、砂糖消費稅ニ於テ四百十三万八千圓ノ減收デ、合計七百八十四万二千圓ノ減額ヲ國庫ニ生ズルノデアリマス、併シ海關稅ノ增收ガ二百四十八万三千圓デゴザイマスルカラ、先ヅ其損失ハ差引五百三十五万八千圓ニ止マルノデアリマスルガ、併シ是モ中々世智辛イ場合ニ於キマシテ、大藏大臣ノ奮發ハ、私ハ決シテ輕クハナイト思フノデアリマス、故ニ委員ノ方ニ於キマシテモ、政府ノ此英斷ハ多トスルケレドモ、之ヲ以テ稅制ノ整理ガ終ツタト云フコトハ承服ガ出來ナイト云フ考ガ多カッタノデアリマス、ドウゾ續イテ大藏大臣ハ、十分ニ此稅制ノ整理ニ銳意従事セラレムコトヲ希望スル、殊ニ既ニ出來上リマシタ新シキ稅法ニ於キマシテモ、其適用上好マシカラヌ點ガ隨分アル、例ヘバ是ハ特ニ委員外カラ加ハッテ質問サレマシテ、ソレニ依リマシテ委員中ヨリ希望トシテ述ベタ點デアリマスガ、少額ノ所得ノ場合ニ於キマシテ、山林ノ所得稅ト一般所得稅トヲ併セテ納メラレル場合ニ於キマシテハ、殆ド六割ノ增稅ヲ見ルト云フガ如キ結果ヲ生ズルノデアリマス、是ハ算盤ヲ政府委員ノ方ニ於テモ取ラレマシタノデアリマス、ドウモサウ云フ不利ナ點モアリマスカラシテ、尙ホ將來大ニソレ等ノ點ヲ考ヘラレテ、相當……不利ノナイヤウニセラレタイト云フ希望ヲ述ベマシテ、此案ノ審議ヲ終ツタノデアリマス、而シテ又中ニハ、地方稅ニ付テノ質疑モアッタ位デアリマスガ、色ムソレ等ノ點ハアリマスルケレドモ、略シマシテ討論ニ移リ、結局總テ此六案ヲ、登錄稅ニ付キマシテハ衆議院ノ修正ヲ含メマシテ、全會一致ヲ以テ可決イタシタ次第デアリマス、何卒速ニ此委員會ノ報告通ニ御可決アラムコトヲ祈ル次第デアリマス

○阪本鈴之助君 特別委員長ニチヨット御尋ヲ致シタイノデアリマス、此砂糖稅デアリマスガ、内地製ノ此和蘭標本第十一號未満ノモノハ、此度ノ改正

ニ依リマスルト、最下等ガ一圓、多キモ二圓五十錢ト云フコトニナシテ居リ
マシテ、之ヲ海關稅ニ對照イタシマスルト、海關稅ハ和蘭標本ノ十一號未滿
ノモノハ二圓五十錢トアルノデ、是ハ即チ一番安イ内國產ノモノニ比シマス
ルト、二倍以上關稅ハ高イ譯ニナルノデアリマス、良イ所ノ分ニシマシテ丁
度同額デ、内國製ガ二圓五十錢、海關稅モ二圓五十錢ニナル、然ルニ良イ方
ノ砂糖、和蘭標本二十二號未滿ノ分ニナリマスルト、内國製ト海關稅ノ對照
ハ、此最下等ノ砂糖ノ方ガ、海關稅ガ重クナイノミナラズ、寧ロ低イノデア
リマス、平均シマシタ所デ、海關稅ノ方ガ安イコトニナルノデアリマスルガ、
是ハ低イ所ハ輸入ガ少イ、重イ所ニナルト輸入ガ多クテ、内地產デハ逆モ足
リナイ、輸入ヲ仰ガナケレバ非常ニ足リナイ、所謂社會政策ト申シマスガ、
需要ヲ充タス上ニ安ク輸入シナケレバナラスト云フ事情カラ、斯ノ如クナッ
タモノデアリマスカ、他ニ何カ理由ノアルコトデアリマスカ、甚ダ素人ノコ
トデアリマスカラ、御答ヲ願ヘマスレバ仕合セデアリマス

○添田壽一君 私モ實ハ餘リ玄人デモアリマセヌノデアリマスガ、私ノ感ズ
ル所ヲ申上ゲテ、尙ホ政府當局カラ詳シク確カナル御答ヲ願ヒタイト思フノ
デアリマスガ、詰リ此所謂中間ノ種類ノ砂糖ハ、我國ノ製糖業ノ製造原料ニ
ナル、故ニ製糖業ノ發達ノ爲ニ、即チ我國ノ產業ノ發達ノ爲ニ、殊ニ其原料
トナルモノハ成ルタケ安ク入レルノガ、產業政策トシテ必要デアルト云フ
上カラ、私ハ安クテモ差支ナイノデハナイカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマ
ス

○阪本彰之助君 希クハ政府委員ヨリ一應御説明ヲ願ヒタウゴザイマス

〔政府委員黒田英雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(黒田英雄君) 第一種ノ砂糖ニ付テ消費稅ハ、樽入白糖二圓ノモ
ノヲ一圓、樽入白下糖並ニ第一種ノ丙ニ付キマシテ五十錢ヅツ輕減イタシテ
居ルノデアリマス、ソレニ對シマシテ關稅ノ二圓五十錢ト云フモノハ如何ニ
モ高イヤウニ思フガ、ドウ云フ風ナ意味カト御尋ネデアッタノデアリマス、
第一種ノ砂糖ニ對シマスル關稅二圓五十錢ハ、之ヲ現行通リニ据置キマシタ

ノデアリマスガ、此第一種ノ砂糖ハ、海外カラ這入リマスルモノハ比律賓等
ニ出來マスル砂糖ガ追々這入^シテ參ルノデアリマス、其輸入ハサウ多クナイ
ノデアリマスケレドモ、多少ハ輸入ガアルノデアリマス、ソレ故若シ内地ノ
沖繩或ハ大島或ハ臺灣等ニ於キマスル、一種ノ砂糖ノ生產ヲ保護イタシマス
ル上ニ於テ、尙ホ幾分カ之ヲ增率ヲシテ防グ方ガ宜シイデハナイカト云フ
ナ議論ガアッタノデアリマス、併ナガラ是等ノ砂糖ノ消費ガ、中產階級以下
ニ主トシテ用キラレルト云フ風ナ消費ノ方面カラ考ヘマシテ、是等ノ關稅ヲ
引上ゲテ少シデモ糖價ヲ高メルヤウナ効キヲサセルコトハ宜シクナイト云フ
考ヲ以チマシテ、据置イタ次第デアリマシテ、今日ノ關稅率ハ、内地ノ是等
砂糖ノ生產ニ對シマシテ、之ヲ据置クコトガ、法ノ上ニ適當デアルト云フ考
ヲ以テ据置キマシタノデアリマス、然ルニ精製糖ニ於テハ、消費稅ノ率ト關
稅ノ率トハ、第一種糖ヨリモ却テ反對ノ結果ヲ來シテ居ルト云フ御説デアリ
マス、是ハ如何ニモ其通デアリマスガ、消費稅ニ付テハ、是ハ精製糖ノ如キ
モノハ第一種糖ニ比ベマスレバ、其消費ノ狀況カラ申シマシテモ、多少此負
擔力ノアル方面ノ消費デアルノデアリマス、ソレ故第一種糖ト比較シマシ
テ、適當ニ消費稅ノ稅率ヲ盛リマシテ定メテ居ル次第デアリマス、ソレ故消
費稅ニ於テハ精製糖ガ高クナッテ參リマス、ソレカラ關稅ノ方ニ於テハ、是
ハ矢張リ先程特別委員長カラ御報告ニナリマシタ通り、大體内地ノ今日ノ製
糖業ノ保護ノ程度ヲ變更シナイト云フ方針デ立テテ居ルノデアリマス、第一
種糖ハ先キニ申上ゲタ通り、第二種、第三種、第四種ヲ一ツニ合セマシテ、
之ヲ三圓九十五錢ト致シタノデアリマス、其三圓九十五錢ト申シマスルモノ
ハ、即チ内地ニ於キマシテ、ソレニ對抗出來ル……内地ト申シマシテモ主ト
シテ臺灣デアリマスガ、臺灣ニ於キマスル所ノ製糖業ヲ今日ノ程度ニ適當ニ
保護イタシマスルノニハ、三圓九十五錢ノ程度ガ宜イト云フ風ニ考ヘマシ
テ、之ヲ三圓九十五錢ニ致シタノデアリマス、サウ致シマスレバ其結果、精
製糖ニ付テモ今日ノ程度ニ保護イタスト致シマスレバ、詰リ三圓十錢ノ原料
ヲ使^シテ居リマシタモノガ三圓九十五錢ニナリマシテ、八十五錢關稅ニ於テ

要リマスルカラ、ソレカラ生産費ノ節約ガ約二十錢ト云フモノヲ控除イタシテ、六十五錢ヲ加ヘマシタモノヲ以テ精製糖ノ關稅ト致シタノデアリマス、

ソレハ精製糖ノ關稅ハ、即チ今日内地デ出來テ居リマスル精製糖業ニ對シマシテ、今日ノ程度ノ保護ヲ與ヘヤウト云フ趣旨カラ出テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ今日精製糖ハ輸入ニ仰ガナケレバナラスカラシテ、關稅ヲ低クシテ居ルノデハナイカト云フ御議論モアッタノデアリマスガ、精製糖ノ輸入ハ今日ハ餘リ無イノデアリマス、是ハ殆ド内地デ以テ内地ノ需要ニ應ズルコトガ出來、尙ホ海外ニ輸出シテ居ルト云フヤウナ狀況ニアルノデアリマスカラ、關稅ノ今日ノ内地ノ精製糖業並ニ臺灣等ニ於キマスル所ノ製糖業ト云フモノニ對シマスル保護ノ程度ヲ、現狀ニ保タセタイト云フ見地カラ盛リマシタ次第デアリマス、從テ消費稅等ノ關係ニ於テハ、御尋ノ通リ下ノ方ニ於キマシテハ殆ド消費稅ト同ジニナリ、上ニ於キマシテ却テ消費稅ガ高イト云フヤウナ結果ヲ來シテ居ル次第デアリマス

○阪本鉄之助君 今一應伺ツテ見タイ、本員ハ海關稅ノ二圓五十錢ハ高イト申シタノデハアリマセヌ、二圓五十錢ガ假ニ相當ナリト認メマシテ、其比較上カラ申シマスルト、良イ方ノ砂糖ノ海關稅ハ低過ギル、只今ノ御説明ニ依ルト、内國產ノ原料ニナルト云フ、委員長ガ言ハレタ事實ハ殆ド無イ、内地產ノ砂糖ヲ以テ需要ハ足リルト云フコトニ御認メニナツテ居ルノナラバ、内國產ノ砂糖ヲ保護スル上ニ於テ、又輸入ヲ防グ上ニ於テ、海關稅改正ノ際ニ、最下等ノ稅ヲ二圓五十錢ニスルナラバ、同様ノ釣合デ稅率ヲ御取リニナツタラ宜カリサウニ思フノデアリマスガ、消費稅ト對照イタシテ見マスルト、關稅ノ率ガ高クナイ、寧ロ私共ノ見ル所デハ低イヤウニ考ヘル、之ヲ低ク据置カレルト云フ理由ハ如何ナル點ニアルカト云フコトヲ御尋ネシテ見タイ、其事例ニ此最下等ノ稅ノ二圓五十錢ヲ引イタ、ソレハ決シテ高イトハ思ツテ居リマセヌ、寧ロ安イ位ニ思ツテ居リマス、高イノハ結構ト思ツテ居ル、結構ト思ツテ居ルト同時ニ、良イ方ノ砂糖ノ關稅ノ率ガ低イヤウニ感ジマスルガ故ニ、低イノハドウ云フ譯デアルカト云フコトヲ御尋ネシタノデアリマス、之ニ當嵌マ

ルヤウナ御説明ヲモウ一應願ヒタイ

〔政府委員黑田英雄君演壇ニ登ル〕

○政府委員(黒田英雄君) 關稅ニ付テ二種以上ノ砂糖ノ稅率ガ低イヤウデアルト云フ風ナ御意見デアルノデアリマスガ、先程モ申上ゲマシタ通り、關稅ノ稅率ヲ決メマスルノニハ、内地ニ於キマスル……内地ト申シマシテハ語弊ガアリマスルガ、臺灣ニ於キマスル製糖並ニ精製糖業ト云フモノニ對シマスル保護ノ程度ヲ、大體現狀ノ程度ニ止メルト云フ趣意カラ出タノデアリマス、ソレ故ニ只今御述ベニナリマシタヤウニ、此稅率ヲ上ゲマスルト云フコトハ、徒ラニ必要以上ノ保護ヲ與ヘルコトニナルノデアリマシテ、必要以上ノ保護ハ、即チ是等ノ砂糖ノ値段ヲ徒ラニ高カラシムルト云フ結果ニ陷ルノデアリマシテ、砂糖ノ消費者ノ方面カラ見マスレバ、成ルベク是等生活ニ必要デアリマスル所ノ、砂糖ノ消費者ノ負擔ヲ輕減スルト云フコトガ必要デアルノデアリマスルカラ、今回提案イタシマシタ所ノ稅率ガ、保護ノ程度ニ於キマシテ、最モ適當ノ程度ト考ヘテ居ルノデアリマスカラ、是レ以上上ゲマスト云フコトハ、保護ニ過ギル、即チ必要ナキ保護ノ結果、糖價ヲ高メル結果ニ相成ルト考ヘルノデアリマスカラ、從テ一種ト比較ニナリマスト、其上リ方ガ或ハ低イト云フ感ジヲ御持チニナルカ知レマセヌガ、保護關稅ノ方カラ申シマスレバ、是デ丁度適當ニ相成ツテ居ル次第デアリマス

○議長(公爵德川家達君) 諸君ニ於テ御異議ガナケレバ、只今添田特別委員長ノ報告セラレマシタ登錄稅法中改正法律案外五件ノ議案ヲ一括シテ問題ト致シマス……各案ノ第二讀會ヲ開クコトニ御異存ゴザイマセヌカ

〔「異議ナシ」ト呼フ者アリ〕

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第二讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

マセヌ

○議長(公爵德川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 各案全部ヲ問題ニ供シマス、全部原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○子爵西大路吉光君 直チニ各案ノ第三讀會ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵楠笥隆督君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動議ニ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 各案第二讀會ノ決議通リテ御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス

○議長(公爵徳川家達君) 兹ニ於テ諸君ニ御諮詢致シタイコトガゴザイマス、本日ハ議事ノ都合上、是ニテ散會イタシタク考ヘマス、御異存ゴザイマセヌカ

「「異議ナシ」ト呼フ者アリ」

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認メマス、明十八日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ決定次第御通知ニ及ビマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後三時二十二分散會

昭和二年三月十七日